
第1回京丹波町総合計画審議会

令和3年10月27日
午後3時00分～
京丹波町役場 議場

- 1 開会
- 2 委嘱
- 3 あいさつ
太田町長
- 4 委員の紹介
- 5 会長・副会長の選任について
- 6 諮問
- 7 総合計画審議会の所掌事務、部会編成等について
- 8 令和3年度の審議会の開催等について
(10月27日) ・第2次京丹波町総合計画後期基本計画の策定に向けて
・令和2年度の地方版総合戦略の評価
(1月下旬) ・第2次京丹波町総合計画後期基本計画の策定に向けて
・総合計画実施計画の進捗管理
- 9 協議事項
第2次京丹波町総合計画後期基本計画の策定に向けて
京丹波町創生戦略に係る事業評価について（意見の報告等）
- 10 次回の審議会について
- 11 閉会

【資料1】

京丹波町総合計画審議会委員

【令和3年-4年度】
(敬称略)

役職等	氏名	選出区分(条例第3条第2項各号)	備考
	藤田 道子	町教育委員会の委員(第2号)	町教育委員会教育長 職務代理
	山田 進	町農業委員会の委員(第3号)	町農業委員会会長
	春田 貢	公共的団体役員又は職員(第4号)	地域の代表 (町区長会の推薦)
	山内 照美	公共的団体役員又は職員(第4号)	町女性の会
	小峰 雅人	公共的団体役員又は職員(第4号)	(公財)丹波自然運動公園 協力会常務理事
	樋口 義昭	公共的団体役員又は職員(第4号)	京丹波森林組合 代表理事組合長
	安谷 一秀	公共的団体役員又は職員(第4号)	町商工会会長
	庄崎 博蔵	公共的団体役員又は職員(第4号)	町観光協会の推薦
	津田 勝二	公共的団体役員又は職員(第4号)	町社会福祉協議会事務 局長
	嵐 光輝	学識を有する者(第5号)	京都銀行須知支店長
	湯川 佳秀	学識を有する者(第5号)	府立須知高等学校校長
	山本 麻里	学識を有する者(第5号)	介護福祉士
	長谷川 真一	町長が適当と認める者(第6号)	京都新聞社南丹支局長
	沖 哲司	町長が適当と認める者(第6号)	京丹波町道の駅連絡協 議会会長
	杉浦 美穂	町長が適当と認める者(第6号)	認定就農者
	谷 文絵	町長が適当と認める者(第6号)	質美笑楽講 絵本ちゃん 主宰
	湊 由利江	町長が適当と認める者(第6号)	子育て世代代表

○京丹波町総合計画審議会設置条例

平成18年3月31日

条例第2号

改正 令和元年9月25日条例第19号

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、京丹波町総合計画審議会(以下「審議会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 審議会は、京丹波町総合計画の策定及び実施に関する基本的な事項について、町長の諮問に応じ調査及び審議し、その結果を報告し、又は意見を建議するものとする。

(組織)

第3条 審議会は、委員20人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから町長が委嘱する。

- (1) 町教育委員会の委員
- (2) 町農業委員会の委員
- (3) 町の区域内の公共的団体役員又は職員
- (4) 学識経験を有する者
- (5) 前4号に掲げるもののほか、町長が適当と認める者

3 委員の任期は2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 第2項第1号、第2号及び第3号に掲げる委員にあつては、委嘱されたときにおける当該身分を失ったときは、委員を辞したものとみなす。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長各1人を置く。

2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。

3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。

4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 審議会は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の定数の半数以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。

(部会)

第6条 第2条の所掌事務を分掌させる必要があるときは、審議会に部会を置くことができる。

2 部会に属すべき委員は、会長が指名する。

(意見等の聴取)

第7条 会長は、第2条の所掌事務を円滑に遂行するために必要と認めるときは、委員以外の者を会議に出席させて、意見、助言等を求めることができる。

(庶務)

第8条 審議会の庶務は、総合計画担当課において処理する。

(補則)

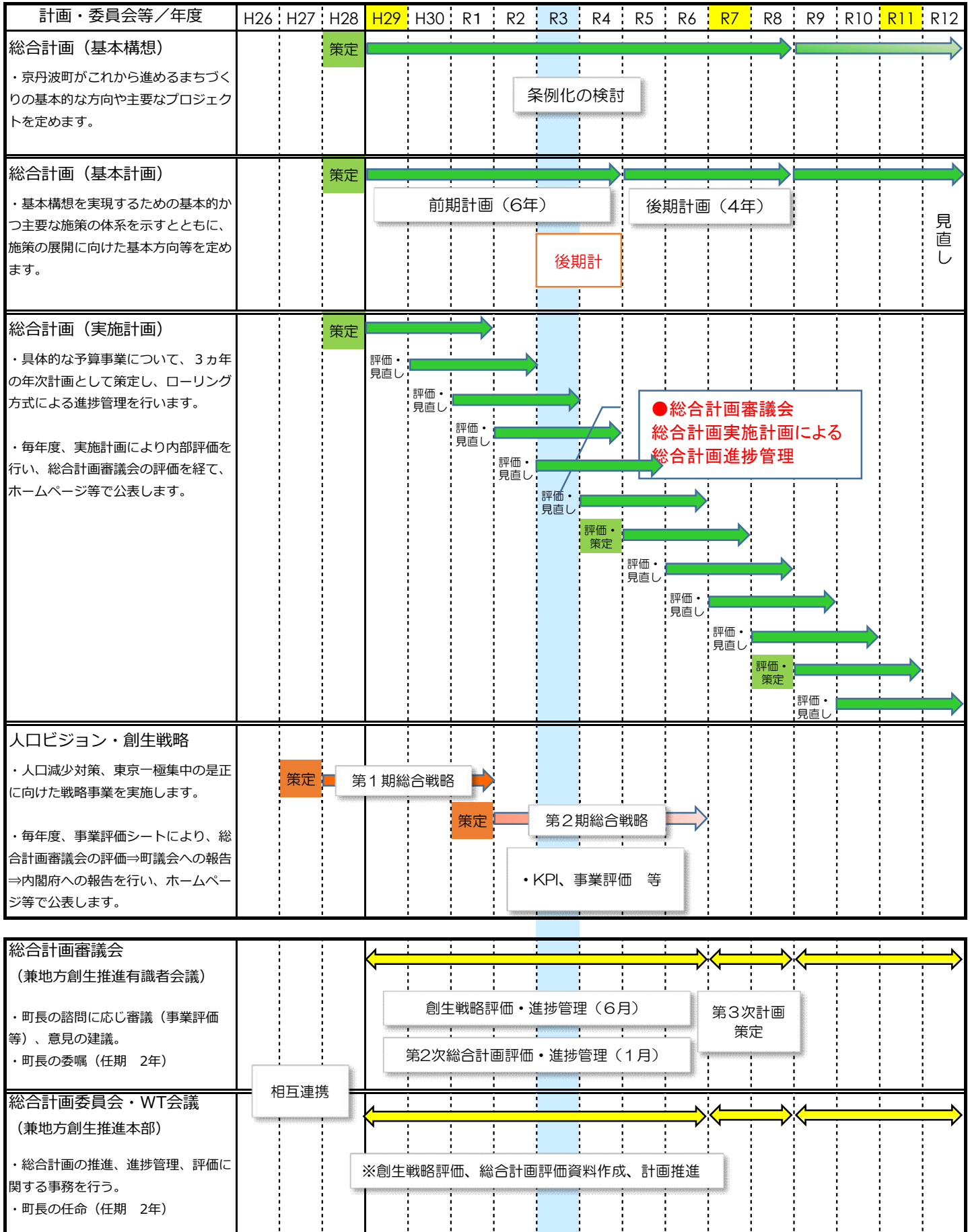
第9条 この条例に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、町長が別に定める。

附 則

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則（令和元年条例第19号）

- 1 この条例は、公布の日から施行する。
- 2 この条例の施行の際現に委嘱する委員の任期満了の日までの間に限り、この条例の改正後の規定にかかわらず、なお従前の例による。



○京丹波町総合計画審議会部会設置規程

平成18年8月1日

(趣旨)

第1条 京丹波町総合計画審議会設置条例(平成18年京丹波町条例第2号。以下「条例」という。)第6条第1項の規定に基づき、京丹波町総合計画審議会(以下「審議会」という。)に部会を設置する。

(所掌事務)

第2条 部会は、条例第2条に規定する事務の一部について、より専門的調査、審議等を行うものとする。

(組織)

第3条 審議会に次に掲げる部会を置く。

- (1) 総務文教部会
- (2) 産業建設部会
- (3) 福祉厚生部会

2 前各号の部会が担当する事務は、別表のとおりとする。

(部会長及び副部会長)

第4条 部会に部会長及び副部会長各1人を置く。

- 2 部会長及び副部会長は、部会委員の互選によって定める。
- 3 部会長は、会務を総理する。
- 4 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるとき又は部会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第5条 部会は、部会長が必要に応じて招集するものとする。

- 2 部会の議長は、部会長が務める。

3 部会において可否を決定する議事があるときは、出席委員の過半数で決定し、可否同数のときは、部会長の決するところによる。

(意見等の聴取)

第6条 会長は、部会の所掌事務を円滑に遂行するために必要と認めるときは、部会の委員以外の者を会議に出席させて、意見、助言等を求めることができる。

(報告)

第7条 部会長は、必要に応じ、部会の協議結果等について審議会に報告するものとする。

(幹事)

第8条 部会に幹事若干名を置くことができる。

2 幹事は、町職員のうちから町長が任命する。

(庶務)

第9条 審議会の庶務は、総合計画担当課において処理する。

附 則

この訓令は、平成18年8月10日から施行する。

別表（第3条関係）

部会名	担当事務（分野）
総務文教部会	総務、行政、財政、財産、税、企画 消防防災 生活安全（防犯、交通安全等） 情報 交通対策 人権 男女共同参画

	<p>交流（国際、地域間）</p> <p>学校教育</p> <p>社会教育（生涯学習、スポーツ等）</p> <p>青少年健全育成</p> <p>文化、芸術</p> <p>その他これらに関する分野</p> <p>他の部会に属さない分野</p>
産業建設部会	<p>農業、林業、水産業、商業、工業、観光</p> <p>消費生活</p> <p>企業誘致（企業立地支援）、雇用対策</p> <p>道路、河川、砂防、ダム</p> <p>公園、建築、住宅（空き民家、団地等を含む）</p> <p>都市計画</p> <p>上・下水道</p> <p>その他これらに関する分野</p>
福祉厚生部会	<p>住民</p> <p>保健、福祉、医療、保険</p> <p>子育て支援、保育所</p> <p>社会保障</p> <p>環境（保全、創出）</p> <p>廃棄物対策</p> <p>その他これらに関する分野</p>
各部会共通	<p>住民等と行政の協働・住民参画</p> <p>住民自治活動、地域活動等</p> <p>産学公（官）連携</p>

人材育成

行財政改革

土地利用

京丹波町総合計画審議会 部会編成シート (案)

(敬称略)

会長等	部 会			氏 名	備考
	部会長等	名 称			
		総務文教	産業建設 福祉厚生	藤 田 道 子	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	山 田 進	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	春 田 貢	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	山 内 照 美	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	小 峰 雅 人	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	樋 口 義 昭	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	安 谷 一 秀	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	庄 崎 博 蔵	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	津 田 勝 二	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	嵐 光 輝	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	湯 川 佳 秀	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	山 本 麻 里	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	長 谷 川 真 一	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	沖 哲 司	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	杉 浦 美 穂	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	谷 文 絵	
		総務文教	産業建設 福祉厚生	湊 由 利 江	

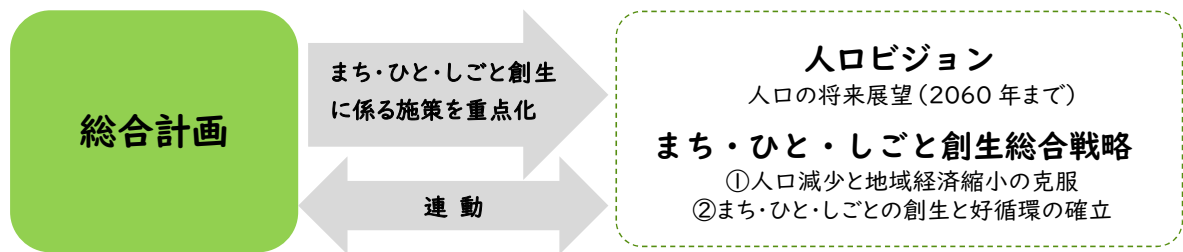
※部会の担当事務（分野）は、部会設置規程別表参照

第2次京丹波町総合計画（後期基本計画）の策定について

1. 第2次京丹波町総合計画とは

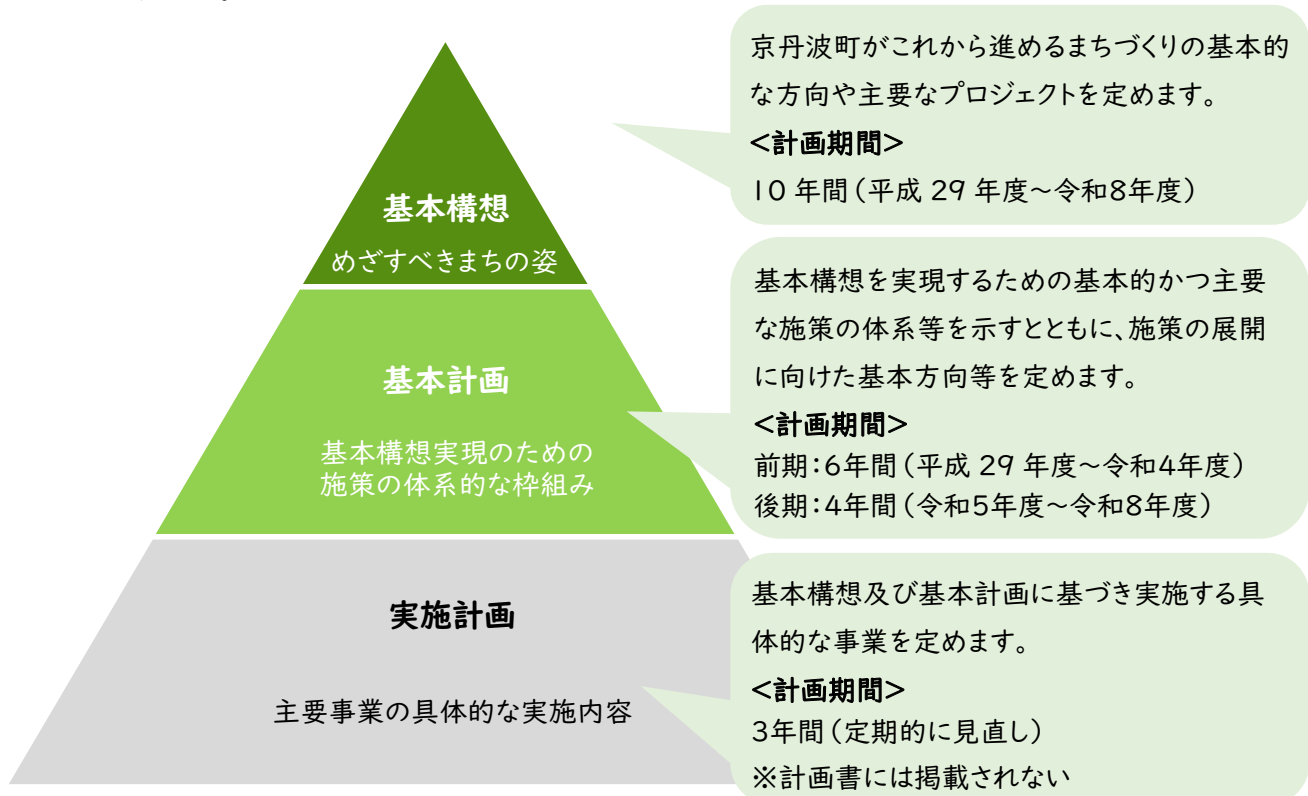
(1) 第2次京丹波町総合計画の位置づけ

- 京丹波町のまちづくりに関する様々な計画の中で“最上位”の計画で、まちづくりを推進するうえでの指針となる計画です。
- 町民・団体・民間事業者等と行政が力を合わせて様々な施策を展開する“協働のまちづくり”を基本としています。
- 人口減少克服・地方創生を目的とする「京丹波町人口ビジョン」「京丹波町まち・ひと・しごと創生総合戦略」とも連動し、関連する施策を進めています。



(2) 計画の構成と期間

- 第2次京丹波町総合計画は、「基本構想」「基本計画」及び「実施計画」によって構成されます。



(3) 第2次京丹波町総合計画の全体像

- 第2次京丹波町総合計画は、めざすべきまちの姿である「将来ビジョン」と、その実現に向けた5つの「基本方針」、さらに基本方針に基づく「施策分野群」等で構成されます。
- なお、後期基本計画の策定においては、「施策分野群」の内容を中心に見直しを行うこととなります。(※「将来ビジョン」「基本方針」及び「3つの主要プロジェクト」は基本構想に位置づけられている)



2. 後期基本計画の策定について

(1) 計画の策定体制

<住民の参画>

- まちづくりに対する住民のニーズを把握するため、2つのアンケート調査を実施します。
- また、これからのまちづくりについて、住民が検討・協議する場として、ワークショップの開催を想定します（※新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえて、開催時期を検討）。

【アンケート調査の実施概要】

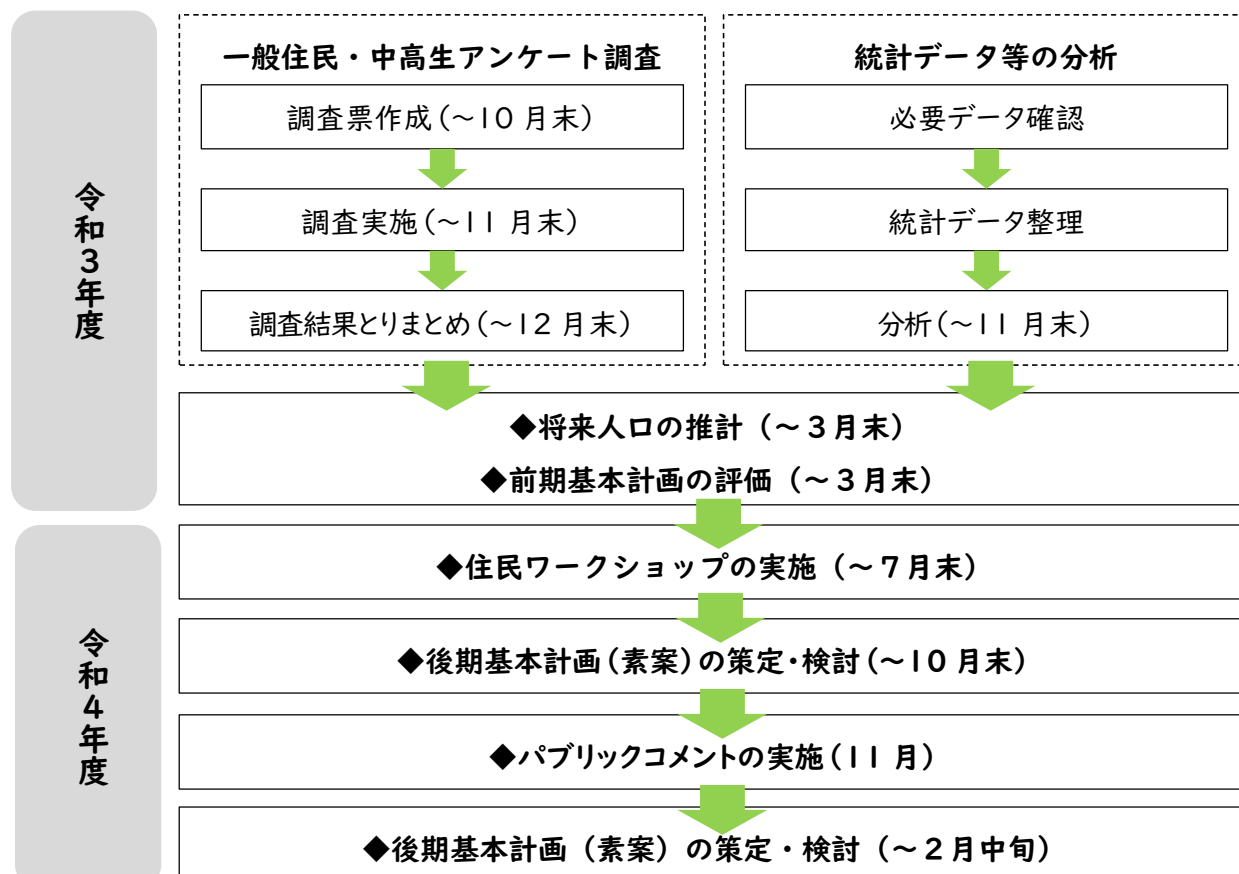
調査の種類	調査対象者	調査方法	配布数
一般住民アンケート調査	18歳以上の住民（無作為抽出）	郵送法	1,500票
中高生アンケート調査	京丹波町内の中学校・高校に通う中高生	学校での配布・回収	460票

<総合計画審議会>

- 住民の代表や学識経験者等で構成される総合計画審議会を設置し、後期基本計画策定に関する審議を行っていただきます。

(2) 計画策定の流れ

- 後期基本計画は次のような流れで策定を進めます。



(3) 総合計画審議会のスケジュール

○審議会の開催時期と主要議題・テーマについては、現時点で次のように想定します。

開催時期	審議会	主要議題・テーマ
令和3年度		
10月下旬	第1回	◇委員の委嘱 ◇計画の策定（スケジュール等）について ◇アンケート調査票について
1月下旬	第2回	◇統計データからみる課題等の報告 ◇アンケート調査結果の報告
令和4年度		
5月中旬	第3回	◇前期基本計画の評価結果報告 ◇後期基本計画（骨子案）について
7月中旬	第4回	◇後期基本計画（素案①）について
8月下旬	第5回	◇住民ワークショップ結果について ◇主要プロジェクトについて
10月下旬	第6回	◇後期基本計画（素案②）について ◇パブリックコメントの実施について
11月	パブリックコメント	
12月中旬	第7回	◇パブリックコメントの結果について ◇後期基本計画（原案①）について
1月中旬	第8回	◇後期基本計画（原案②）について

※あくまで現時点の想定であり、今後の進捗状況等により開催時期、テーマ等に変更になる場合があります。（特に令和4年度については、大きく変更になる可能性があります）

別添

令和2年度 総合戦略事業評価シート

【にぎわい創生】 課

国の政策パッケージ	
(1) 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする	○地域資源・産業を活かした地域の競争力強化
京丹波町における政策の基本目標	
(1) 地域経済支援によるしごとづくり	(ア) 包括的創業支援の推進

政策パッケージ	(ア) 包括的創業支援の推進							
達成すべき目標	新規町内就業者数 2015～2018累計42人⇒2020～2024累計70人							
施策の推進方針	<ul style="list-style-type: none"> ・町内での雇用を増やし、若年層の定着を図る。その上で、町遊休土地等を活用した企業誘致を促進する。 ・「遊休人財」といわれる女性や退職者の起業促進を図ることにより、生涯現役で幸せに暮らせるしごとづくりを推進する。 ・産業ネットワークと創業支援との連携により、町内企業を中心とした関係機関の産学連携や企業とのマッチングなどを進め、地域商社等での研修制度を設けて性別や年齢等に関わらない幅広い人材育成を図るとともに、新たな地域製品の開発を進め、地域資源活用型の新産業創出につなげる。 							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値	目標値				
			2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①地域資源活用型起業数（地域資源活用型起業家・ベンチャービジネス）	件	18	20	22	24	26	28
	②地域資源活用型産業数（新製品・新サービス）	件	15	18	21	24	27	30
	③（関係人口）ふるさと応援寄付金申込者数	件	919	1,500	2,000	3,000	4,000	5,000
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I 地域資源活用型企业（起業家）誘致事業	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用創出等による定住人材の増加 ・農林業及び食関連産業の活性化 					①	
	II 起業・ベンチャービジネス育成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・町内起業家育成による定住人材の増加 ・次世代定住人材の育成 					①	
	III 新産業創出事業	<ul style="list-style-type: none"> ・新産業の創出及び事業成長による雇用促進、定住人材の増加 					②	
	IV 地域商社ふるさと産品開発プロジェクト事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域商社の設立及び事業成長による雇用促進、定住人材の増加。 ・地域商社による農林業及び食関連産業の活性化、新たな地域産業の創出 					③	

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	I 地域資源活用型企業（起業家）誘致事業	担当課	【にぎわい創生】			
KPIの実績	①地域資源活用型起業数（地域資源活用型起業家・ベンチャービジネス）	R2	R3	R4	R5	R6
		34				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
企業訪問活動	・誘致候補企業への訪問活動 ・町内工場の本社への訪問活動（工場拡張への働きかけ等）	訪問数	10社	12社	20	A	工場立地2社を実現。現在町内3社の工場等拡張の計画 【令和3年度目標値15社】
金融機関への企業誘致PR	・金融機関等を訪問し、京丹波町の企業誘致施策の説明及び用地情報等をPR。	実施回数	3回	1回	10	B	PR資料制作により実効性のあるPRができ、引き合い情報が増加した。 【令和3年度目標値3回】
企業誘致PR資料制作	・京丹波町の工場用地資料及び企業誘致施策、工場立地後のフォローアップ施策等を取りまとめたPR資料を制作し、企業誘致活動に活用した。	実施回数	1回	1回	10	B	用地情報や企業誘致戦略・ビジョン等を取りまとめた企業誘致PR冊子を作成。 【令和3年度目標値1回】
企業誘致PR	・京都府内自治体の共同で首都圏において企業誘致説明会を実施。主要銀行や大手不動産事業者に対して京丹波町の用地情報等をPR。	実施回数	1回	0回	0	B	令和2年度については、コロナ感染拡大のため開催中止。 【令和3年度目標値1回】
町の遊休施設を活用した食・農関連企業誘致事業（新規）	町の遊休施設等を活用した食・農関連企業誘致に向けた調査研究を行う。	企業調査数	5社	5社	10	A	先進事例等を研究し、実現可能性を検証していく必要がある。 【令和3年度目標値 先進事例調査数5件】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅱ 起業・ベンチャービジネス育成事業	担当課	【にぎわい創生】			
KPI	①地域資源活用型起業数（地域資源活用型起業家・ベンチャービジネス）	R2	R3	R4	R5	R6
		34				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
起業セミナー	起業に必要な基礎知識及びノウハウの習得を目指す講座（全6回講座）を実施。カリキュラムの中で町内先輩起業家との交流も実施。	受講者数	10人	0人	0	A	コロナ感染拡大防止のため全日程開催中止。 【令和3年度目標値 10名】
起業個別相談（伴走支援）	行政・商工会・金融機関でつくる「京丹波町創業支援ネットワーク」による起業個別相談を通じて、開業及び開業後のフォローアップ支援を実施。	支援者数	名	名	0	B	3者の連携により起業に向けた伴走支援を効果的に実施。 【令和3年度目標値 20名】
地域探究ゼミ（次世代の創業機運醸成）	高校生を対象としたアクティブラーニング方式による地域探究ゼミ及び起業家教育プログラムの実施。	受講者数	50人	50人	10		総合戦略、産業と観光など幅広い分野を学ぶメニューで、次世代人材を育成に寄与。 【令和3年度目標値 50名】
ビジネスプランコンテスト（新規）	コロナ禍のため、対面型事業からオンラインを活用したデジタルマーケティングに路線転換。デジタルマーケティングセミナーの企画立案に着手。	受講者数	10人	0人	10	A	令和3年度から本格的事業実施。 【令和3年度目標値 10人】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅲ新産業創出事業	担当課	【にぎわい創生】			
KPI	②地域資源活用型産業数（新製品・新サービス）	R2	R3	R4	R5	R6
		26				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
起業・新事業創出支援補助金	町産業ネットワーク加入企業相互の工場見学会	実施回数	3回	0回	0	A	コロナ感染拡大防止のため開催中止。今後はオンライン開催など方法を検討。または別事業を模索。 【令和3年度目標値 2回】
工場見学会	町内の中小企業や小規模事業者等の新事業創出等に対する補助金制度を創設。	新事業創出件数	10件	10件	4,805	B	幅広い分野での起業者の発掘や既存事業者の新事業創出、雇用創出につながった。【令和3年度目標値10件】
高校生インターンシップ	須知高校生に町内企業での短期就労体験。将来的な人材の地域定着のきっかけづくり。	参加者	20人	0人	0	B	コロナ拡大により中止も、これまでにインターンシップ先へ実際の就職につながった事例もあり。 【令和3年度目標値 20人】
高校生キャリアアップ講座	町内企業経営者等が講師となり高校生に会社概要や経営理念のPRとともに、社会人として必要な能力などをアドバイス。	受講者	20人	人	2	B	高校生にとっては、将来的な町内就職の可能性や選択肢を考える有意義な機会となった。 【令和3年度目標値 20人】
新事業創出支援パッケージ（新規）	食・農関連産業における新事業創出を集中的に支援するパッケージ。令和3年度から事業実施に向けて事業構築を調査・研究。	支援件数	5件	0件	10	A	令和3年事業化のための事業構想ができあがった。 【令和3年度目標値 支援件数5件】
ビジネスプランコンテスト（新規）	基幹産業である食・農関連産業における人材育成等を促進するため、販路開拓等を集中的に支援す。令和3年度からの実施に向けて事業構築を調査・研究。	地域商社を通じた地場製品の売上	10,000千円	33,366千円	10	A	地域農産物の流通販売システムの確立、ふるさと納税返礼品業務の受託等地域商社事業が軌道にのり、次年度以降の事業拡充に期待できる。 【令和3年度目標値 地域商社を通じた地場産品売上30,000千円】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅳ地域商社ふるさと産品開発プロジェクト事業	担当課	【にぎわい創生】			
KPI	③（関係人口）ふるさと応援寄付金申込者数	R2	R3	R4	R5	R6
		6,167				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
農商工連携マッチング、産学連携等による新規の地場特産品開発・プロモーション	農商工連携や産学連携等により開発した新たな地場産品（ふるさと産品）を地域商社がふるさと納税返礼品事業やコンパクト型流通事業等を通じて販路開拓支援。	新規産品数	30点	115点	8,500	A	地域商社を通じて新たな地場産品開発を効率的・効果的に進められ、ふるさと納税返礼品等として販路開拓を実現。 【令和3年度目標値 100点】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		
【新規】ECサイト開設事業	令和3年度からの事業実施に向けて、地場産品通販事業の事業構想策定に向けて検証・研究した。	ECサイトの地場産品売上高	ECサイトの地場産品売上高	1,000千円	10	令和3年度に地場産品ECサイトを構築し、地域商社において運用。

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【福祉支援課】

国の政策パッケージ	
(1) 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする	○専門人材の確保・育成
京丹波町における政策の基本目標	
(1) 地域経済支援によるしごとづくり	(イ) 福祉サービス産業の活性化

政策パッケージ	(イ) 福祉サービス産業の活性化							
達成すべき目標	新規町内就業者数 2015～2018累計 <u>42人</u> ⇒2020～2024累計 <u>70人</u>							
施策の推進方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町内福祉施設等における慢性的な介護人材不足の解消を図る。 ・ そのため、介護福祉士資格取得等に係る助成や人材確保に向けた支援制度を推進する。 ・ 外国人を含め、多様な人材確保に向けた環境整備を推進する。 							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値	目標値				
			2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①福祉介護事業所の新規就業者数（累計）	人	17	5	5	5	5	5
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I 福祉介護人材の確保対策事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安定的な介護人材の育成と確保 ・ 雇用の創出と定住促進 ・ 職員の資質向上と介護現場の魅力アップ 					①	

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	I 福祉介護人材の確保対策事業	担当課	【福祉支援課】			
KPIの実績	①福祉介護事業所の新規就業者数（累計）	R2	R3	R4	R5	R6
		27				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性にに基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
福祉人材確保対策事業	町内福祉施設等における介護人材の育成と確保を図るため、介護福祉士等の資格を取得しようとする当該施設等に勤務する職員又は介護人材確保に取り組む町内事業者等に対し、京丹波町福祉人材確保対策事業助成金を交付する。	福祉介護事業所の新規就業者数	5人	27人	1,564	B	個人向け、事業者向けともに制度の周知と定着が図られており、継続して制度を活用いただいているため。 【令和3年度目標値 5人】
介護福祉士育成修学資金貸付事業	介護人材の育成と確保を図るため、京丹波町内の福祉施設等で介護福祉士として介護等の業務に従事しようとする者に対し、養成施設等の修学に必要な資金を貸与する。	貸与人数	3人	3人	2,099	B	制度を継続して活用いただいております、目標をもって知識と技術の習得を目指す人材の育成に資することができているため。 【令和3年度目標値 3人】
地域自立生活支援事業	介護サービス相談員派遣事業：京丹波町介護相談員が派遣申出事業所の介護現場に赴き、利用者に寄り添い、その思いを傾聴し、事業所に伝え、意見交換を重ねる中で介護現場の資質向上に貢献し、介護現場の魅力をアップする。	介護サービス相談員派遣回数	180回	0回	242	C	感染症予防のため相談員の本来からの活動が困難になっている。感染症終息までの間の活動方法、手段を検討する必要がある。【令和3年度目標値 未定】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【農林振興】 課

国の政策パッケージ	
(1) 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする	○働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保
京丹波町における政策の基本目標	
(1) 地域経済支援によるしごとづくり	(ウ) 農林業の成長産業化

政策パッケージ	(ウ) 農林業の成長産業化							
達成すべき目標	新規町内就業者数 2015～2018累計42人⇒2020～2024累計70人							
施策の推進方針	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の増加、農林業従事者の高齢化と担い手不足、有害鳥獣の被害など、基幹産業を取り巻く環境を改善させる。 ・高齢の担い手の負担軽減や新規就業者でも早期に安定した経営が行えるよう、ICT技術等を活用したスマート農林業の導入を推進。 ・これらスマート農林業を導入し、効率化に伴うコスト削減等により収益力を強化し、儲かる農林業を確立するとともに、機械化による労働負担の軽減も図り、若者にも魅力ある産業への再構築を推進し、担い手の育成と確保につなげる。 ・有害鳥獣の対策についてもICT技術を導入することにより、追い払いや捕獲等の効果を高める取組を推進する。 ・また、本町は林地残材、家畜排泄物、食品廃棄物等、多くのバイオマス資源を有していることから、さらなる利用を図る必要があるため、地域のバイオマス資源の持続的利用や里山再生など、地域内の資源を循環させる取組等により、エネルギー、環境、産業、コミュニティを柱としたまちづくりを推進する。 ・新たな耕畜連携の取組として、酪農で発生する糞尿から生成したバイオガスを用いた発電と生成過程で生じる液肥を利用する農家の育成を進める。 							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値	目標値				
			2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①京丹波町産木材使用住宅建築数（累計）	件	4	1	1	1	1	1
	②地元産酒米使用数量	kg	5,648	5,930	6,226	6,537	6,863	7,206
	③農地集積率 （遊休農地の減少）	%	5.72	6	9	12	15	20
④バイオマス関連施設就業者数（林業関係者含む （累計））	人	6	7	7	7	7	8	
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I 京丹波町産木材活用促進事業	・森林の保全、二酸化炭素の排出抑制					①④	
	II バイオテクノロジーを活用した地域産業活性化事業	・地元唯一の酒造会社が開発した商品を開発し、地域ブランドの確立 ・米政策の転換					②	
	III ICTを活用したスマート農業導入支援事業	・肥料・農薬等の削減や農業生産の効率化や農産物の高付加価値化 ・技術伝承等、次世代への技術継承にも期待。					③	
	IV ICTを活用した有害鳥獣対策システム構築事業	・ICTを活用した有害鳥獣の効率的な捕獲。 ・負担軽減により、若い従事者の参入にも期待。					③	

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	I 京丹波町産木材活用促進事業	担当課	【農林振興】			
KPIの実績	①京丹波町産木材使用住宅建築数（累計）	R2	R3	R4	R5	R6
		0				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
ぬく森のイスプレゼント事業	子どもの健やかな成長と町の森林資源を活用した木工製品を贈ることにより、木の温もりを感じる生活空間の創造と活力ある森林づくりを推進することを目的に、本町出生児に対し町内産木材で制作したイスを贈呈する。	イスの製作数	41	41	1471	B	地元産材活用のPRと木のぬくもりある暮らしの実現に向けた取り組みを継続し、町内産木材の利用促進に繋げるとともに川上・川下事業者同士の連携による活性化を図る。【令和3年度目標値 55脚】
林業機械購入助成事業	京丹波森林組合が購入する高性能林業機械等の導入経費に対して一部補助を行なう。	台数又は個数	0	0	0	B	令和2年度においては、高性能林業機械の導入予定はなかった為、事業は実施しなかった。引き続き高性能林業機械等の導入が行われる場合には、本事業を実施し安定した森林管理が行えるようにする。【令和3年度目標値 0回】
間伐材運搬対策事業	木材搬出にかかる経費に対して補助金を交付することにより、搬出経費の負担軽減をはかり、林内に放置させていた原木を製材やチップ等に活用。	木材搬入材積	2000	2000	3000	B	新型コロナウイルス感染症や消費税増税等により原木価格は不安定な現状にある。安定した林業従事者の雇用や町内産木材の流通拡大、林地残材の発生を抑制する為、本事業を継続して実施する。【令和3年度目標値 2,000㎡】
森林資源循環利用促進事業	町内の林業事業者等が、町内の林地から間伐作業により伐採した原木を搬出し、ホンシメジ生産施設等に運搬し、優れた特産林産物の安定した生産を目指す。	木材搬入材積（㎡）	832	832	2910	B	特産林産物の安定した生産体制の構築、町内の経済循環の促進及び林業事業者の育成を図るため継続して実施する。【令和3年度目標値 900㎡】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅱ バイオテクノロジーを活用した地域産業活性化事業	担当課	【農林振興課】			
KPIの実績	②地元産酒米使用数量	R2	R3	R4	R5	R6
		5,665				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
バイオテクノロジーを活用した地域産業活性化事業	地元耕種農家全量生産による酒米を、地元唯一の酒造会社を使用した商品を開発し、販売流通することで地域ブランドの確立に繋げる。さらに、米政策の転換にあたり、需要に応じた米生産の仕組みを構築するための一翼を担うもの。	地元産酒米使用数量 kg	5800 kg	5665 kg	-	B	地元産酒米の使用数量はやや増加へ推移しているが、昨年度に当初設定した目標値には届かなかった。今後、さらに増加を目指し事業を継続することで成果を拡大するもの。 【令和3年度目標値 5,800kg】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅲ ICTを活用したスマート農業導入支援事業	担当課	【農林振興課】			
KPIの実績	③農地集積率 (遊休農地の減少)	R2	R3	R4	R5	R6
		8.88				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 (単位：千円)	評価	評価の判断理由及び改善事項 (妥当性・有効性、効率性に基づき記載)
		指標名	目標値	実績値			
ICT, ロボット、AI の技術実装の推進	実施に向けた体制整備等	-	-	-	-		肥料・農薬等の資材費の削減や農業生産の効率化、農産物の高付加価値化などが期待される。また農業従事者が高齢化し技術伝承にも役立ち次世代への技術継承も期待される。 【令和3年度目標値5件】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 (単位：千円)	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅳ ICTを活用した有害鳥獣対策システム構築事業	担当課		【農林振興課】		
KPIの実績	③農地集積率 (遊休農地の減少)	R2	R3	R4	R5	R6
		8.88				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 (単位：千円)	評価	評価の判断理由及び改善事項 (妥当性・有効性、効率性に基づき記載)
		指標名	目標値	実績値			
ICTの技術実装の推進	実施に向けた体制整備等	-	-	-	-		ICTを活用した有害鳥獣の効率的な捕獲が期待される。駆除従事者の高齢化により減少が懸念されることから、ICTを活用することにより従事者の負担軽減が図られ従事者の減少を最小限に抑える又は若い従事者の参入が期待される。 【令和3年度目標値 資格取得者5人】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 (単位：千円)	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【農林振興課】 課

国の政策パッケージ	
○働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保	○働きやすい魅力的な就業環境と担い手の確保
京丹波町における政策の基本目標	
(1) 地域経済支援によるしごとづくり	(エ) 新規就農・就業者への総合的支援

政策パッケージ	(エ) 新規就農・就業者への総合的支援							
達成すべき目標	新規町内就業者数 2015～2018累計42人⇒2020～2024累計70人							
施策の推進方針	<ul style="list-style-type: none"> ・遊休農地の増加、農林業従事者の高齢化と担い手不足、有害鳥獣の被害など、基幹産業を取り巻く環境を改善させる。(再掲) ・高齢の担い手の負担軽減や新規就業者でも早期に安定した経営が行えるよう、ICT技術等を活用したスマート農林業の導入を推進する(再掲) ・これらスマート農林業を導入し、効率化に伴うコスト削減等により収益力を強化し、儲かる農林業を確立するとともに、機械化による労働負担の軽減も図り、若者にも魅力ある産業への再構築を推進し、担い手の育成と確保につなげる。(再掲) ・外国人や子育て世代等の定住に向けた就労支援等を推進する。 							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値 2018年	目標値				
				2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①新規就農者・林業就業者数(累計)	人	8	12	14	14	14	14
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I 農林業の担い手対策	・新規就農者が農業経営を開始するに当たり、営農技術の習得や初期投資の負担軽減により地域の担い手として経営が早期に安定。					①	

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	I 農林業の担い手対策	担当課	【農林振興課】			
KPIの実績	①新規就農者・林業就業者数（累計）	R2	R3	R4	R5	R6
		13				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
新規就農育成事業	新しく就農を希望される方を対象に、技術習得から就農までを一貫して支援する実践的な研修のばとして「実践農場」を整備する。	実践農場研修者	1	1	204	B	新規就農の育成は重要で、対象者がいれば継続する。 【令和3年度目標値 1】
就農研修資金償還金助成事業	新たに就農を目指す青年等が借り受けた就農研修資金の償還金に対して助成を行うことにより、就農の促進を図る。	資金借入者	2	2	480	B	平成27年度で貸付が終了し、助成事業は令和6年度で終了する。 【令和3年度目標値 2】
農業次世代人材投資事業	青年の新規就農者を大幅に増加させるため、収入の不安定な就農初期段階に農業次世代人材投資交付金を交付し、就農後の定着を図る。	新規就農者5年以内	10	11	13500	B	国庫事業で新規就農者定着のため必要で継続する。 【令和3年度目標値 10】
京丹波町農業経営体確保・育成事業	認定農業者及び認定新規就農者が農業施設又は農業機械の整備を行う場合に、補助対象経費の10分の3以内を補助する。	認定農業者及び新規就農者5年以内	16	14	16682	B	京丹波町の担い手の経営基盤強化のため必要で継続する。 【令和3年度目標値 10】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【にぎわい創生課 和知支所】

国の政策パッケージ	
(2) 地方とのつながりを築き、地方への新しい人の流れをつくる	○地方移住の推進
京丹波町における政策の基本目標	
(1) 京丹波町へのひとの流れづくり	(ア) 移住・定住のトータルサポート

政策パッケージ	(ア) 移住・定住のトータルサポート							
達成すべき目標	令和7年の戦略人口12,200人の達成							
施策の推進方針	<ul style="list-style-type: none"> ・京都縦貫自動車道の全線開通や鉄道網の高速化など、「都市近郊の純田舎」として地域の魅力を発信するとともに、通勤・通学圏として必要な支援策を検討する。 ・移住希望者への支援策、移住者が地域内で定住するための支援策の強化と併せて、移住におけるリスク（土地柄、地域コミュニティの情報不足等）を解消し、地域にとっても円満な移住をサポートする。 ・地域がU・I・Jターン等の受け入れに向けた取組を推進しやすいよう、町が主体的に空き家バンクやお試し住宅等の移住支援に取り組み、地域と協力関係を構築しながら移住施策を推進する 							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値	目標値				
			2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①助成制度活用による移住者数（累計）	件	15	19	22	26	30	34
	②子育て世帯の移住数（助成制度活用による）	件	3	1	1	1	1	1
	③移住促進特別区域の認定数	件	9	10	11	11	11	11
	④お試し住宅の整備	件	1	2	2	2	2	2
	⑤田舎ぐらしナビゲーターの配置	件	5	19	20	20	20	20
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I 住み続けるまちづくり事業	・若者定住促進住宅購入補助金による若者の定住。					①	
	II 住みつなぐ空き家活用事業	<ul style="list-style-type: none"> ・町内の空き家利活用と移住希望者への物件紹介し、移住推進。 ・空き家改修助成等による空き家バンクの活用推進。 					①②③	
	III お試し居住による段階的移住の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者受入体制の充実 ・お試し住宅の整備を整備し、段階的に移住につなげる。 					④	
	IV 定住化促進に向けた地域の受入体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ・地域案内資料を作成し、移住への不安解消につなげる。 ・京の田舎ぐらしナビゲーターの伴走支援による定住促進。 					⑤	

事業名	I 住み続けるまちづくり事業	担当課	【にぎわい創生課 和知支所】			
KPIの実績	①助成制度活用による移住者数（累計）	R2	R3	R4	R5	R6
		0				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
分譲地購入助成	「京丹波町若者定住促進宅地購入助成補助金交付要綱」に基づき同要綱第2条に定める対象者要件に該当する者に対して100万円を補助する。	助成制度利用者数	1件	0件	0千円	D	平成27年、本庄地内に分譲地を9区画整備。本助成事業は2年度末で終了。残り1区画については、令和3年度より貸出をする。 【令和3年度目標値0件】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅱ住みつなぐ空き家活用事業	担当課	【にぎわい創生課】			
KPI	②子育て世帯の移住数（助成制度活用による）	R2	R3	R4	R5	R6
		2				
KPI	③移住促進特別区域の認定数	R2	R3	R4	R5	R6
		10				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

①助成制度活用による移住者数（累計）については、「Ⅰ住み続ける町づくり事業」で合算

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
京丹波町空き家情報バンク	登録された空き家情報を移住希望者に紹介し、空き家の活用と移住者受入体制の充実を図る。	空き家バンクを利用した移住者数	15	34		B	町HPの掲載内容充実や関係機関との連携強化により、成約件数が増加した。 【令和3年度目標値 16人】
京丹波町移住促進事業	移住者や空き家の所有者等を対象に、移住に係る事業費を補助。空き家の有効活用により、地域の活性化を図る。	事業の活用件数	10	12	10900	B	相談対応等において周知したことから、移住促進住宅整備事業4件、空家流動化促進事業7件に加え、移住者起業支援事業1件の実績となり、事業の活用件数が増加した。 【令和3年度目標値 13件】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅲお試し居住による段階的移住の促進	担当課				
KPI	④お試し住宅の整備	R2	R3	R4	R5	R6
		0				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
質美移住体験住宅の活用推進	質美移住体験住宅を全町的に活用推進することで、移住者受入体制の充実につなげる。	町を通じた利用件数	1	0		B	新型コロナウイルス感染症感染拡大により取組を中止。 【令和3年度目標値 1件】
お試し住宅の整備及び運用	短期間の田舎ぐらし(移住)体験ができるよう、新たにお試し住宅を整備する。	お試し住宅整備件数	0	0		C	社会情勢等を考慮したうえで事業スケジュールを見直す。 【令和3年度目標値 0件】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R1 年度戦略事業評価シート

事業名	IV定住化促進に向けた地域の受入体制構築	担当課				
		R2	R3	R4	R5	R6
KPI	⑤田舎ぐらしナビゲーターの配置	21				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
地域提案書や集落の教科書等の地域案内資料作成	受入体制の整備・充実に向け、京丹波町移住促進事業の地域受入体制整備事業等を活用し、地域案内資料等の作成を行う。	地域受入体制整備事業活用件数	1	2	1,000	B	地域受入体制整備事業の活用により、地域案内動画やHP内に移住専用ページ作成等を実施。 【令和3年度目標値 1件】
京の田舎ぐらしナビゲーターの設置及び情報共有の仕組みづくり	移住促進特別区域内において、各区域に京の田舎ぐらしナビゲーターを配置し、情報共有ができる仕組みを構築する。	情報共有会議開催回数	3	1		B	新型コロナウイルス感染症感染拡大により、定期的に会合が開催できなかったことから、情報共有方法の見直しを検討。 【令和3年度目標値 3回】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【にぎわい創生】 課

国の政策パッケージ	
(2) 地方とのつながりを築き、地方への新しい人の流れをつくる	○関係人口の創出・拡大 ○地方への資金の流れの創出・拡大
京丹波町における政策の基本目標	
(1) 京丹波町へのひとの流れづくり	(イ) 食実幸健 食の郷●京丹波の推進

政策パッケージ	(イ) 食実幸健 食の郷●京丹波の推進							
達成すべき目標	交流人口 2015～2018累計1,726.9人⇒2020～2024累計2,000人							
施策の推進方針	<p>・京都縦貫自動車道の全線開通により交通量が大きく変化したことなどにより、本町の交流人口は約400万人まで増加した。このことから、さらなる賑わいづくりや目的客の確保といった仕組みづくりを多角的に進める。</p> <p>・個性的な観光資源のつながりをつくり、その情報を道の駅等の集客施設で発信することで、国道や京都縦貫自動車道から町内へ「新しいひとの流れ」を構築する。</p> <p>・観光施策という限られた取組ではなく、交流人口のさらなる増加と地域経済の活性化、移住定住にもつながる「関係人口」の獲得に向けて総合的なプロジェクトに取り組む。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値 2018年	目標値				
			2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	
	①ご当地メニュー開発数（累計）	品目	6	7	8	9	10	11
	②農園利用区画数	区画	50	50	50	50	50	50
	③観光ファンクラブ会員数	人	198	240	280	320	360	400
	④関係人口（ふるさと納税）	人	723	1,000	1,500	2,000	3,000	4,400
	⑤関係人口（農園等利用者数）	人	2,020	2,100	2,300	2,500	2,800	3,000
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I フードツーリズム推進プロジェクト事業	<p>・京丹波町の食を活用した商品開発、イベント・体験プログラムを実施していくことにより京丹波町を観光の目的地として選択してもらえるようにし、結果として、観光客数の増加、京丹波町の知名度アップに繋げる。</p>					①②④	
	II 新たな魅力づくりプロジェクト事業	<p>・とことこ倶楽部の会員を増し、発信力を強化。</p> <p>・体験コンテンツを増やすことにより、京丹波町へ集客を促進。</p>					③⑤	

R1 年度戦略事業評価シート

事業名	I フードツーリズム推進プロジェクト事業	担当課	【にぎわい創生】			
KPIの実績	①ご当地メニュー開発数（累計）	R2	R3	R4	R5	R6
		1品目				
KPIの実績	②農園利用区画数	R2	R3	R4	R5	R6
		50				
KPIの実績	④関係人口（ふるさと納税）	R2	R3	R4	R5	R6
		6167				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
食の観光PR	イベント開催等を通じて京丹波の食の魅力発信を行う。	イベント回数	2回	0回	0	B	新型コロナウイルス感染症拡大により京丹波●食の祭典と、須知高校感謝祭が中止となった。【令和3年度目標値2回】
観光PR活動	ツーリズムEXPO及び旅行社商談会への参加	イベント・商談会参加回数	6回	1回	8	B	新型コロナウイルス感染症拡大により都道府県をまたぐ移動を自粛したことにより、大阪駅観光PRの1回となった。【令和3年度目標値3回】
観光シンポジウム	「明智光秀と須知城について」講演を予定していたが、感染症対策により、CATVによる「明智光秀と京丹波町」に関する特別番組の制作と	回数	1回	1回	106	B	観光シンポジウムの開催についても、Withコロナ時代に即してその取り組み方法を工夫して、その効果を引き出すことができた。【令和3年度目標値1回】
ロケ弁プロジェクト	地域食材を活用したロケ弁の販売	提供の機会	3回	1回	0	B	コロナ禍の中、ロケ自体が激減したが、町内で行われたドラマ等ロケにおいて、地元食材のロケ弁を提供し、地域経済の活性化や地域の盛り上がり、さらにはロケ地としての魅力向上につながった。【令和3年度目標値3回】
味夢の里隣接ホテルとの連携	フェアフィールド・バイ・マリオット京都京丹波ホテルを拠点としたツアーメニュー造成	造成ツアー数	2種	1種	0	B	㈱あさひによる「サイクルツーリズム」メニューを開発し催行に至った。【令和3年度目標値3種】
光秀公ゆかりの地PR	大河ドラマレガシープロジェクトポスター制作 明智光秀公ゆかりの里PR商品開発	PR商品数	3種	1種	115	D	大河ドラマに関連した各種PRを実施【令和3年度目標値0種】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

R1 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅱ 新たな魅力づくりプロジェクト事業	担当課	【にぎわい創生】			
KPIの実績	③観光ファンクラブ会員数	R2	R3	R4	R5	R6
		3,104				
KPIの実績	⑤関係人口（農園等利用者数）	R2	R3	R4	R5	R6
		集計中				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基き記載）
		指標名	目標値	実績値			
レンタサイクル事業	町内2箇所（京丹波町観光協会・わち山野草の森）にけるレンタサイクルの貸し出しを行う。	貸出し台数	120台	67台	50	B	周遊ルートマップの作成及びわち山野草の森から道の駅「和」にレンタサイクルの貸し出し箇所を変更し、利用者増を目指す。【令和3年度目標値120台】
ロケ地誘致事業	ロケーションオフィスの運営及び運営支援事業 ロケ地調査、選定事業、ロケ弁開発事業 養鶏場跡地活用事業、映画イベントの開催	ロケ回数	12回	12回	10,700	A	平成28年度公開の「本能寺ホテル」、平成30年度公開の「あの日のオルガン」等を契機として、ロケ地として本町の認知度が向上。さらにオープンセットロケ施設の試行開放及びロケ地PRパンフレットを作成し、映画関係者等へのPRを強化しロケ地誘致の向上を図っている。また、エキストラをはじめとしたボランティアスタッフも着実に増えており、ロケ地誘致事業に対する町民の理解も深まっている。【令和3年度目標値12回】
京丹波アンバサダーによるプロモーション事業	インバウンドをターゲットとした観光客の誘致を目的として、京丹波アンバサダーとなるウェルカムサポーター育成プログラムを実施	実施回数	5回	5回	550	B	京丹波アンバサダーとなるウェルカムサポーター育成プログラム実践編次年度実施することで効果を発揮する【令和3年度目標値5回】
とことこ倶楽部の運営	・京丹波町の魅力について情報提供（会報の発行） ・地域ブランドの魅力などの情報発信（会員向けツアーの実施）	会員数	350人	200人	23	B	会員向け会報を年1回以上発行。とことこクラブ会員が優先的に参加できるイベントを年度ごとに計画し京丹波ファンの獲得に努めている。【令和3年度目標値220人】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【企画財政課、教育委員会】

国の政策パッケージ	
(2) 地方とのつながりを築き、地方への新しい人の流れをつくる	○若者の就学・就業による地方への定着の推進
京丹波町における政策の基本目標	
(2) 京丹波町へのひとの流れづくり	(ウ) 地元学生定着促進プランの推進

政策パッケージ	(ウ) 地元学生定着促進プランの推進							
達成すべき目標	交流人口 2015～2018累計1,726.9人⇒2020～2024累計2,000人 新規町内就業者数 2015～2018累計42人⇒2024～2024累計70人							
施策の推進方針	<ul style="list-style-type: none"> ・京都府立須知高等学校の町内就職率の向上を図る。 ・京都府立林業大学校学生の町内居住地の確保と町内就職率の向上を図る。 ・京都大学農学部大学院農学研究科との連携事業などを模索する中で、町内企業や域外の企業との連携し、新規雇用と転出抑制を図る。 ・地元の中学校や高等学校等と連携し、生徒を対象に住んでいる京丹波町の魅力や情報を伝える取組を推進し、将来の定住につなげる。 							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値	目標値				
			2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①地元学生の町内雇用・定住数（累計）	人	18	18	18	19	19	20
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I 地元学生定着促進事業（公共施設利活用、空き家対策と連携）	<ul style="list-style-type: none"> ・町職員等が小学校、中学校、高校で講義等を行い、京丹波町の現状や魅力について理解を深めることにより、定住や大学等卒業後のUターン等につなげる。 ・町で推進しているホッケーやカヌーの体験教室等を実施し、これを機会にトップ選手を目指すこどもの育成につなげたり、同世代のこども達が学校の垣根を越え交流することにより、視野を広げるきっかけづくりを行う。 					①	

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	I 地元学生定着促進事業（公共施設利活用、空き家対策と連携）	担当課					【企画財政課、教育委員会】
KPIの実績	①地元学生の町内雇用・定住数（累計）	R2	R3	R4	R5	R6	
		5					

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
京丹波町塾	・中学校や高校、公共施設等において、学習機会や町のことを学ぶ機会の提供。	開催回数	3	2	0	A	学校の授業の中で開催した。今後は、放課後等も活用するなか、充実を図っていく。 【令和3年度目標値3回】
スポーツ塾	・町で推進しているホッケーやカヌーの体験教室等を実施する。	①開催回数	15	14	0	B	町で推進しているホッケーを体験してもらうことでスポーツをする楽しさのきっかけ作りが出来た。主管協会と連携を強化し、講師派遣や開催方法の整理が必要。【令和3年度目標値10回】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【社会教育課】

国の政策パッケージ	
(2) 地方とのつながりを築き、地方への新しい人の流れをつくる	○関係人口の創出・拡大
京丹波町における政策の基本目標	
(2) 京丹波町へのひとの流れづくり	(エ) スポーツ観光等の推進

政策パッケージ	(エ) スポーツ観光等の推進							
達成すべき目標	交流人口 2015～2018累計1,726.9人⇒2020～2024累計2,000人							
施策の推進方針	<ul style="list-style-type: none"> ・町のスポーツであるホッケー競技の普及やPRを推進し、全国、世界からのホッケー合宿の受け入れ地としての聖地化を目指す。 ・豊かな自然あふれる景観や施設などを活かし、ノルディックウォーキングなどスポーツとかけ合わせたスポーツ観光の推進により、滞在時間の延伸と交流人口の拡大を目指す。 							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値	目標値				
			2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①スポーツ観光の受け入れ数	人	68	68	70	70	72	72
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I 京丹波町ホストタウン構想推進事業	・地域資源を活用したスポーツ施策の充実による交流人口の維持、増加等。					①	

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	I 京丹波町ホストタウン構想推進事業	担当課	【社会教育課】			
KPIの実績	①スポーツ観光の受け入れ数	R2	R3	R4	R5	R6
		27				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基つき記載）
		指標名	目標値	実績値			
ホストタウン構想	・ホッケーチーム招致、交流	丹波自然運動公園、グリーンランドみずほ等スポーツ施設入り込み客数	68	27	411	D	ホストタウン構想としてオリンピック参加チームの事前合宿誘致を行っていたが、新型コロナウイルス感染症により、海外チームの受け入れ条件が叶わなかった。
地域おこし協力隊設置事業	・ホッケー教室や各種大会等を中心に施設利用の充実や参加者の交流を図る	教室開催回数	7	5	1,563	C	日本代表候補選手によるホッケー教室の開催。新型コロナウイルス感染症により、中止や事業内容を調整しての開催となった。【令和3年度目標値7回】
海洋センター事業	・カヌー等を中心とした体験型スポーツ観光の充実	教室開催回数	4	0	79	B	新型コロナウイルス感染症により事業実施が出来ず施設の利用も中止となった。体験型スポーツ観光として継続していく。【令和3年度目標値3回】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【健康推進課、にぎわい創生課、教育委員会】

国の政策パッケージ	
(3) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	○結婚・出産・子育ての支援 ○仕事と子育ての両立
京丹波町における政策の基本目標	
(3) 地域総がかりで育む子育てからひとづくり	(ア) 総合的な少子化対策の推進

政策パッケージ	(ア) 総合的な少子化対策の推進							
達成すべき目標	出生数 2015～2018累計252人⇒2020～2024累計400人							
施策の推進方針	<ul style="list-style-type: none"> ・高度な子育て支援策を医療・福祉の面からも支援する。 ・妊婦健診助成、不妊治療助成など出産への支援策の継続と充実を図る。 ・男性30代の既婚率向上のための施策を推進することにより、出生数の増加を図る。 ・地域の中で親同士が気軽に交流でき、お互いが支えあう子育てサークルの育成を行うため、子育て支援センターの充実を図る。 ・地域子育て支援拠点としての学童保育事業の充実により、安心した子育て環境を提供する。 ・多様なニーズに対応するため、子育て世代のミーティングを実施する。 							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値 2018年	目標値				
				2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①出会いサポート事業利用者数	人	39	40	40	40	40	40
	②子育て支援者数	人	10	11	15	20	22	25
	③学童保育の利用者数	人	120	120	120	120	120	120
④育児について相談する人がいる保護者の割合	%	86	90	95	100	100	100	
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I 産前・産後サポート事業	・出産や育児の相談がしやすくなり、必要な支援を利用し、安心して子育てができる保護者が増え、子育てしたい地域として定住者が増。					④	
	II 出会いサポート事業	・若者のパートナーづくり支援と観光資源のPRを図るとともに、京丹波町での出会いが移住のきっかけにつながることに期待ができる。					①	
	III 地域子育て支援センター事業	・様々な情報を受発信できるネットワークを構築することで、安心して子育てできる環境を整えるとともに、地域へのつながりに発展させる。					②	
	IV 学童保育事業の充実	・保護者の就労支援、児童の健全育成に寄与。					③	

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	I 産前・産後サポート事業	担当課	【健康推進課】			
KPIの実績	④育児について相談する人がいる保護者の割合	R2	R3	R4	R5	R6
		97.5%				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
妊娠届出時の面談	妊娠届出者に対し保健師が面接し、利用できるサービスや相談場所を紹介し、産後の育児までを見通したセルフプランを両者で立てる。支援が必要な妊婦については支援プランを作成し、必要な機関と連携する。	面接率	100%	100%	20	B	最初の出会いである妊娠届け出時に面談を行うことで、妊婦との信頼関係を築く一途となっている。妊娠届出者全員に対し面談が実施することができており、今後を見通したプランを両者で作成することができている。
マタニティ・産後ヨガ教室	妊娠期から産後間もない時期にヨガを通じ、助産師・保育士・保健師の専門的なかわりを持つことで、不安の解消を図り、妊産婦同士の交流を図る。	参加者数	妊婦延 20人 産婦延 40人	妊婦延 6人 産婦延 7人	90	B	女性自身がかもつとも体に気を配る妊産婦時期に、ヨガを通じた健康づくり支援を行うことで、安心して出産に望めるよう支援することができている。切れ目ない支援を実施するために、令和3年度から実施場所を子育て支援センターに移動する。【令和3年度目標値 妊婦延15人、産婦延15人】
ベビーマッサージ教室	助産師の指導のもとで、乳児期の子と保護者がふれあいを通じ、愛着形成や、保護者間の交流を図る。	参加者数	延べ 40組	延べ 29組	19	B	実施場所を子育て支援センターに移動し子育て支援事業との同時開催事業とし、参加しやすい体制とする。【令和3年度目標値 延べ参加者数30組】
妊婦・乳幼児相談	妊娠中の不安及び乳幼児を持つ保護者の育児不安の解消と子どもの健全な発達発育を支援することを目的として、保健師・栄養士が町内2会場に毎月出向き、育児に関する相談を受ける。	参加者数	延べ 70人	延べ 27組	0	B	昨年度同様に、子育て支援センター開放日に丹波と和知地区で開催し、参加しやすく、切れ目ない支援を行える体制とする。【令和3年度目標値 延べ参加者数30組】
新生児継続訪問	保健師による新生児訪問の結果、継続して支援が必要と認められた母子に対し、保健師が継続的に電話や訪問し、悩みや相談にのり必要な支援につなげる。子育て支援課、主任児童委員、地域の事業所等と一緒に訪問し相談支援や仲間づくりをサポート。	実施回数	延べ 5人	延べ 7人	0	B	必要と判断した母子に対して、訪問による支援や、関係機関への必要な支援へつなげることができている。【令和3年度目標値7人】
産後ケア事業	出産直後に育児支援を必要とする母子を対象に、心身の安定と育児不安の軽減をし、安心して子どもを生き育てることのできる支援体制として、宿泊型、訪問型の支援を行う。	利用者数	訪問型 or 宿泊型 1件	訪問型 1件	312	B	支援を必要とする母子に対し、適宜紹介し、利用いただくことができている。【令和3年度目標値 訪問型15件 宿泊型7件】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅱ 出会いサポート事業	担当課	【にぎわい創生課】			
KPI	① 出会いサポート事業利用者数	R2	R3	R4	R5	R6
		0				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
出会いサポート事業	観光資源を活かし、京丹波町の地域の魅力を満喫してもらうとともに、若者のパートナーづくりの場の提供のため、出会いサポートツアー（ときめきツアー）を実施。	参加者数	40	0		C	新型コロナウイルス感染症感染拡大により中止。次年度以降においても、状況に応じて開催の有無や事業内容の見直しを検討する。 【令和3年度目標値 40人】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅲ地域子育て支援センター事業	担当課	【こども未来課】			
K P I	②子育て支援者数	R2	R3	R4	R5	R6
		8				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
子育て支援センター事業 （ひろば型・拠点型）	町内の未就園児（保育所に入所していない児童）親子を対象として、子育てに関する情報提供、子育て支援センタールームや保育所園庭の開放など、各種行事の実施。 令和元年度より支援センターの拠点化及び支援センター事業の充実を図るため、丹波子育て支援センターを中心した運営に変更。	子育てサークル数	3団体	1団体	741	B	丹波子育て支援センターを拠点として事業を展開することで、常時センターを開所することができ、参加者も増加している。 情報発信の充実やネットワークの構築を図り、子育てサークルの育成を促進する。 【令和3年度目標値 2団体】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅳ学童保育事業の充実	担当課	【学校教育課】			
K P I	③学童保育の利用者数	R2	R3	R4	R5	R6
		118				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
学童保育事業	学童保育時間の延長にかかる制度設計	支援員の増加	2	2	4,310	B	慢性的な保育支援員の不足により、保育時間の延長を実施できる体制が整わず、検討が進まない状況にある。令和2年度2名の臨時職員を採用し、引き続き支援員の確保を図っていく。
	学童保育施設の整備検討（2組）	整備検討（2組）		検討継続		B	施設整備（改修、新築等）の検討を継続して進める。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【健康推進課、教育委員会、こども未来課、農林振興課、企画財政課】

国の政策パッケージ	
(3) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	○地域の実情に応じた取組の推進
京丹波町における政策の基本目標	
(3) 地域総がかりで育む子育てからひとづくり	(イ) 多様な教育機会の充実

政策パッケージ	(イ) 多様な教育機会の充実							
達成すべき目標	出生数 2015～2018累計252人⇒2020～2024累計400人							
施策の推進方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「子育てはしんどい」「経済的な負担が大きい」などのマイナスイメージを払拭するため、将来設計を見据えた教育機会を設ける。 ・若者がふるさとに愛着をもつ心に、さらに、教育や地域づくりという「手(て)」を加える機会を増やすことにより、「すき」から「すてき」に思う環境づくりを進める。 ・地域資源である「森林」を活用し、町ならではの「主体的で対話的な」就学前教育・保育を実践し、幼児教育の質を向上。 							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値	目標値				
			2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①ライフデザイン教育推進事業参加	%	8	17	20	35	35	35
	②学校支援地域本部事業の実施校数	校	3	3	3	3	3	3
	③子育て世帯数(就学前)	世帯	315	316	317	318	319	320
	④食育推進連絡会の実施	回	1	1	1	1	1	1
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I「笑がおで食育」推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食に地元食材を積極的に取り入れる等、食育に寄与する。 ・食育の推進により、豊かな農産物のある本町への愛着を育てる。 					④	
	II ライフデザイン教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・若者のパートナーづくり支援と観光資源のPRを図るとともに、京丹波町での出会いが移住のきっかけづくりにつながることに期待ができる。 					①	
	III 明日を拓く教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な情報を受発信できるネットワークを構築することで、安心して子育てできる環境を整えるとともに、地域へのつながりに発展させる。 					②	
	IV京丹波町塾(再掲)連携	<ul style="list-style-type: none"> ・京丹波町の現状や魅力について理解を深め、定住や大学等卒業後のUターン等につなげる。 ・スポーツの体験教室等を実施し、アスリートの育成につなげたり、子ども達が学校の垣根を越えて交流することにより、視野を広げる。 					②	
	V木育スタートアップ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源である「森林」を活用した就学前教育・保育を実践。「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を踏まえ幼児教育の質を向する。 					③	

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	I 「笑がおで食育」推進事業	担当課		【健康推進課、学校教育課】		
KPIの実績	④食育推進連絡会の実施	R2	R3	R4	R5	R6
		100%				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
学校給食事業	野菜まるごと京丹波献立の日 町内栄養士の連絡会議の設置	回数	3	3	0	B	コスト面を考慮し、当面の間は現状のまま実施する。 【令和3年度目標値3回】
食育推進連絡会	町内の食育に関係する団体による連携により情報、課題を共有している。（幼、保、小中学校、高校、教育、農林、保健からなる17の構成団体）	開催数	1回	年1回	0	B	開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令された為、書面により依頼し連携をとった。【令和3年度目標値1回】
養護教諭との連携	子ども達の健康状況について幼稚園、小学校、中学校の養護教諭と連携し課題の抽出、対策の検討を実施。	開催数	年1回	年1回	0	B	開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言が発令された為、書面により依頼し連携をとった。【令和3年度目標値1回】
学校給食事業	京丹波野菜たっぷり献立の日	実施数	年3回	年3回	110	B	2次計画から目標を改正し、各給食センターにおいて町内で取れた野菜をたっぷり使用した献立の日として提供された。【令和3年度目標値3回】
食育推進事業	統一テーマによる「食育だより」の発行	発行回数	年3回	年1回	0	B	2022年の中間評価まで「野菜と適塩」をテーマとし、第2回「野菜と大豆」について各食育担当者と協議し発行することができた。【令和3年度目標値3回】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅱ ライフデザイン教育推進事業	担当課	【こども未来課】			
KPI	① ライフデザイン教育推進事業参加	R2	R3	R4	R5	R6
		0				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
ライフデザイン教育	若い世代に家庭の大切さや子どもを生き育てることの意義を学ぶ機会を作るため、中学生を対象として、子育て体験を聞き、乳幼児とふれあう学習機会を設ける。	事業参加者	17人	0人	0	B	妊娠、出産、育児の体験談を聞いたり、実際に赤ちゃんにふれ、そのぬくもりを感じる中で、命の尊さや自分がどのように生まれ、育てられてきたか、将来、社会の一員としてどのように生きるかを考える良い機会となっているが、令和2年度はコロナ禍のため事業実施できなかった。 若い世代が乳幼児の心身の発達と生活、家族や家庭の意義を学ぶことができる貴重な事業として、今後も継続して取り組みを進める。 【令和3年度目標値 17人】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅲ明日を拓く教育推進事業	担当課		【学校教育課】		
KPI	②学校支援地域本部事業の実施校数	R2	R3	R4	R5	R6
		5				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
地域学校協働本部事業	各小学校において、主体的に地域と学校との連携を図り取組みを進めている。それぞれ特色ある取組みを進めるため、予算の配分や執行についても各学校の裁量に幅を持たせている。より効果的な取組みが遂行できるよう、地域コーディネータをはじめとする全体研修活動を定期的に開催する。	実施回数	2回	1回	773	B	コロナ禍により、地域住民との交流を基盤とした取組みが出来ていない。コロナ禍での取組内容やその方法など先進事例を研究しつつ、各学校での取組みについて情報共有や意見交換を行い、事業の磨き上げを行う。 【令和3年度目標値 2回】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅳ京丹波町塾（再掲）連携	担当課	【企画財政課 教育委員会】			
KPI	③子育て世帯数（就学前）	R2	R3	R4	R5	R6
		290				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
京丹波町塾	・中学校や高校、公共施設等において、学習機会や町のことを学ぶ機会の提供。	開催回数	3	2	0	A	学校の授業の中で開催した。今後は、放課後等も活用するなか、充実を図っていく。 【令和3年度目標値3回】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	V木育スタートアップ事業	担当課	【こども未来課】			
KPI	③子育て世帯数（就学前）	R2	R3	R4	R5	R6
		290				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
木育のスタートアップ （木にふれる・木と遊ぶ・木に学ぶ）	自然にふれる機会を多くつくり、自然環境問題に対応した教育を推進する。また、京丹波町の地域資源である「森林」を活用し、身近な自然を見たり触れたりする体験を通じて「木」への興味関心をはぐくみ、生活や遊びの中に「木」を感じられるよう「木育」を推進する。	開催回数	2	2	741	B	子育て支援センターにおいて、中央公民館の木育広場での活動や、木や松ぼっくりを使ったクリスマス飾りの製作を行い、木のぬくもりに触れる行事を行った。 【令和3年度目標値 2回】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【こども未来課、住民課、企画財政課】

Z	
(3) 結婚・出産・子育ての希望をかなえる	○結婚・出産・子育ての支援
京丹波町における政策の基本目標	
(3) 地域総がかりで育む子育てからひとづくり	(ウ) 子ども・子育て支援の充実

政策パッケージ	(ウ) 子ども・子育て支援の充実							
達成すべき目標	出生数 2015～2018累計252人⇒2020～2024累計400人							
施策の推進方針	<p>・子育て世帯の負担軽減を図るための経済的支援を充実させる。</p> <p>・子育て支援講座などを実施し、子育ての不安解消、出産への意欲などを向上。新たな、子ども・子育てに関する経済支援を検討。</p> <p>・思春期に顕在化する困り感の早期発見に努め、不登校や引きこもり等の二次障害を予防し、「子育て・親育ち」のできる体制をつくる。また、生きづらさを感じる子どもに対して、地域で自分らしく生きていけるよう、安心できる居場所づくりなど、作業療法士や臨床心理士等と連携した取組を行う。</p>							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値 2018年	目標値				
				2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①子育て世帯数(就学前)	世帯	315	316	317	318	319	320
	②子育て基金積立額	千円	8,000	10,000	12,000	14,000	14,000	14,000
	③高校生等医療費受給者数	世帯	169	170	170	170	170	170
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I 多子軽減負担(第3子保育料等無償化)	・「子育て・親育ちのできるまち」として町内外に発信することにより、総合的な移住支援につなげ、子育て世帯の増加を図る。					①	
	II 子育て応援助成金	・経済的支援を行うことにより子育て世帯の移住を叶えるとともに、地域コミュニティへの参加などを促し、地域社会の活性化を図る。					①	
	III 高校生等医療費助成	・高校生等の健康の保持・増進 ・子育て世帯の負担軽減 ・子育てへの不安解消、出産意欲などの向上。					③	
	IV 子育て基金の創設(ふるさと納税との連携)	・「ふるさと応援寄附金」を財源として安心して子育てができる環境・条件を整備する等により、子ども・子育て支援の充実を図る。					②	
	V 思春期サポート事業	・思春期の困り感を早期に発見し、不登校等の二次障害を予防。親子ともに「こころの健康」が保てるように、「子育て・親育ち」のできる体制をつくる。また、多様性を理解し、個性を尊重し合えるまちを目指す。					①	

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	I 多子軽減負担（第3子保育料等無償化）	担当課	【こども未来課】			
KPIの実績	①子育て世帯数（就学前）	R2	R3	R4	R5	R6
		290				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
第3子無償化事業	18歳未満の児童が3人以上いる世帯の第3子以降の児童の子育て支援センター事業（短時部）の給食費を保育所給食費と同様に無償化。	利用児童数 無償化件数	8人 1件		54	B	子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができた。保育所の利用者との公平性を維持するため、今後も継続した実施が必要である。 【令和3年度目標値 子育て世帯数（就学前）316世帯】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅱ子育て応援助成金	担当課		【こども未来課】		
KPI	①子育て世帯数（就学前）	R2	R3	R4	R5	R6
		290				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
子育て応援助成金	京都府の「結婚・子育て応援住宅総合支援事業」を活用して、要件に該当する子育て世帯の住宅リフォーム工事費用を助成。	助成金受給世帯数	6	6	6000	B	子育て世帯の住環境向上、世代間支援の促進のため、多くの申請をしていただいている。令和3年度からは三世帯近居に係る要件を拡充し、実施している。【令和3年度目標値 5件】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅲ 高校生等医療費助成	担当課	【住民課】			
KPI	③ 高校生等医療費受給者数	R2	R3	R4	R5	R6
		169				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
高校生等医療費助成事業	高校生等が医療機関を受診した時に支払った保険給付に係る医療費の一部を申請により助成する。	受給者数	170人	169人	2,484		継続した広報活動を行い、償還払いにて医療費の助成を実施し、子育て負担の軽減を図る。 【令和3年度目標値 170人】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅳ子育て基金の創設（ふるさと納税との連携）	担当課		【企画財政課】		
KPI	②子育て基金積立額	R2	R3	R4	R5	R6
		40				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
ふるさと応援寄附金事業	ふるさと納税募集チラシを道の駅や町内外のイベント等で配布し、寄附を呼びかけている。1万円以上の寄附をいただいた町外在住者に対しは、寄附金額に応じ、広報誌、観光パンフレット及び京丹波町で生産・加工されたふるさと産品を送付している。	寄附金額 （うち、子育て支援事業に充当したもの）	1.3 百万円	40 百万円	16,000	B	教育振興対策事業に充当。 【令和3年度目標値 1.3百万円】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	V 思春期サポート事業	担当課	【こども未来課】			
KPI	①子育て世帯数（就学前）	R2	R3	R4	R5	R6
		290				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
思春期サポート	思春期に顕在化する困り感の早期発見に努め、不登校やひきこもり等の二次障害を予防し、こころの健康が保てるように支援する。多様性を持つ子どもを育てる保護者を対象とした子育て支援により、良好な親子関係の構築を支援する。具体的には小中学生で対人関係等に困り感を持つ児童・保護者について、発達相談での思春期対応を実施。（R2.9開始）	相談件数	21	12	216	B	【令和3年度目標値 36件】 教育現場職員が「気になる児童」の理解・対応について学ぶ機会を設け、子どもが多く時間を過ごす学校現場における子供の困り感への気付き力、対応力を向上するための取り組みが必要である。発達相談の場があることの啓発活動を行っていく必要がある。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【企画財政課、にぎわい創生課、福祉支援課】

国の政策パッケージ	
(4) ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	○質の高い暮らしのための町の機能の充実
京丹波町における政策の基本目標	
(4) 豊かな暮らしを持続可能にするまちづくり	(ア) 地域と地域を結ぶネットワーク形成

政策パッケージ	(ア) 地域と地域を結ぶネットワーク形成							
達成すべき目標	まちづくり拠点数 2015～2018累計0設置⇒2020～2024累計5設置							
施策の推進方針	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化に伴う「交通弱者」への対応は、日常生活を維持するためにも早急な対応が求められる中で、将来的には交通ネットワークを形成することにより、拠点づくりと集住化につなげる。 ・地域への情報発信、地域間の情報ネットワークの高度化や、多様なニーズに対応するため、インターネット環境の高速化を実現し、地域内での起業や移住、地域内における活性化の取組を促進する。 							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値	目標値				
			2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①循環バスの運行本数	本数	0					2
	②インターネット接続サービス利用数	千円	3,027	10,000	12,000	14,000	14,000	3,500
	③買物支援サービス利用者数	世帯	1,093	1,600	1,650	1,700	1,750	1,800
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I ケーブルテレビ伝送路の光化統一事業	<ul style="list-style-type: none"> ・民間事業者によるテレビ・インターネット接続サービスを全町域で提供できる環境を実現し、都市との情報格差（デジタルデバイド）を是正。 ・自主放送番組により、地域コミュニティ情報の共有を継続しておこなうことで、行政と町民、町民と町民の良好な関係性を実現する ・関西大学社会安全学部と町民の協働による防災番組を制作し、町民の防災力の向上を図り、安全安心なまちづくりを実現する。 					②	
	II 地域公共交通ネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性の向上により、住民の生活環境が向上。 ・免許証自主返納者を促し、町営バスを利用することで交通事故を減少。 					①	
	III 買物支援ネットワーク形成	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の買物困難解消。 ・商業施設及び地域商店街等の利用促進、活性化。 					③	

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	I ケーブルテレビ伝送路の光化統一事業	担当課	【企画財政課】			
KPIの実績	②インターネット接続サービス利用数	R2	R3	R4	R5	R6
		3408				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
インターネット接続サービス	京丹波町ケーブルテレビ事業のあり方審議会の答申を受け、運営形態の民営化へ向けた準備を行なう。	インターネット接続サービス利用数	3500	3408	209907	C	【令和3年度目標値3500件】
自主放送番組の充実	地域住民一人ひとりが主役の自主放送番組を継続。大学、町民と連携した番組制作を通じて、量と質ともに充実した関係人口の創出を狙い、地域課題に向きあい解決策を模索し情報共有を行なう中で地域活性化へ向けた地域コミュニティ情報の共有を継続。	番組制作数	100	109	209907	A	【令和3年度目標値100件】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅱ 地域公共交通ネットワーク形成	担当課	【にぎわい創生課】			
KPI	① 循環バスの運行本数	R2	R3	R4	R5	R6
		0				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
現行路線バス利用向上事業	時刻表の改正、免許証自主返納制度、町営バス利用促進制度、高齢者半額乗車券	乗車人数	150,500人	119,746人	123,643	B	健康長寿社会への対応、利用し易い環境整備と新たな交通対策を実施することで、住みやすい生活環境の充実を図る。【令和3年度目標値 100,000人】
地域公共交通ネットワーク計画策定	新規交通網、循環バスの運行に向け検討を行う。	循環バスの運行本数	1本	0本	-	C	令和2年度に、新規路線「丹波日吉線」の運行を開始した。循環バスの運行は、既存の路線の効率化を図る等により、対応を行う。【令和3年度目標値0本】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅲ買物支援ネットワーク形成	担当課	【にぎわい創生課・福祉支援課】			
KPI	③買物支援サービス利用者数	R2	R3	R4	R5	R6
		541				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
買物支援バス運行	買物弱者等を対象に、道の駅を拠点とした買物支援バスの運行。	利用者（人）	1,000人	387人	1,620	B	コロナ感染拡大のため、利用者が大幅減少となったが、引き続き事業継続で買い物支援を行う。 【令和3年度目標値 1,000人】
商店組織による高齢者宅配サービス及び出張販売（新規）	和知地区の商店8店舗による高齢者等を対象とした宅配サービス及び出張販売事業「わちスマイル便」	利用者（人）	40人	154人	420	B	出張販売事業の開始により、事業の利用者が増加。引き続き現状のままで事業を継続実施する。 【令和3年度目標値 40人】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【医療政策課、健康推進課】

国の政策パッケージ	
(4) ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	○安心して暮らすことができるまちづくり
京丹波町における政策の基本目標	
(4) 豊かな暮らしを持続可能にするまちづくり	(イ) 健康づくり・地域包括ケアシステム構築の推進

政策パッケージ	(イ) 健康づくり・地域包括ケアシステム構築の推進							
達成すべき目標	まちづくり拠点数 2015～2018累計 <u>0</u> 設置⇒2020～2024累計 <u>5</u> 設置							
施策の推進方針	<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命延伸を目指して、医療・介護・福祉・保健を一体的に提供できる地域包括ケアシステム構築の推進を図る。 ・スポーツを「健康づくり」の面からとらえ、家庭から地域、地域からまち全体へと広がる施策を推進する。 ・地域内のコミュニティが希薄化する中で、昔ながらの「お互い様」「おすそわけ」がある本町の地域力を再構築し、専門的な見地も含め実践する。 							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値 2018年	目標値				
				2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①特定健康診査受診率	%	51.9	57	58	59	60	60.0
	②介護予防事業の実施箇所数	集落数	75	76	77	78	79	80
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果						KPI
	I 医師等確保推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・町立医療機関を地域のかかりつけ医として持続させる。 ・地域の実情に応じた安定した医療の提供と事業運営。 ・地域包括ケアシステムの持続。 						②
	II 健診事業	<ul style="list-style-type: none"> ・疾病の予防と早期発見・早期治療により、健康寿命の延伸につなげる。 ・健康長寿の町づくりのイメージを町外に発信し、移住につなげる。 						①
	III 地域包括ケアシステム構築推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性の向上により、住民の生活環境が向上。 ・免許証自主返納者を促し、町営バスを利用することで交通事故を減少。 						②
	IV 健康で長生きするぞ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の買物困難解消。 ・商業施設及び地域商店街等の利用促進、活性化。 						①

事業名	I 医師等確保推進事業	担当課	【医療政策課】			
KPIの実績	②介護予防事業の実施箇所数	R2	R3	R4	R5	R6
		0				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
医師確保事業	京都府等の関係機関との連携を強化し、事業運営に必要な医師数を確保する	確保医師数	常勤医師 8人以上	常勤医 7人 非常勤医師 3.99人	86,756	B	現在の規模の病院事業を維持するためには、常勤医師の確保は必須である。しかし、常勤医の負担を軽減し、かつ効率的に診療科の充実を図るには非常勤医師の確保があってこそである。そのため引き続き非常勤医師の一定数確保に務めることが必要である。 【令和3年度目標値 今後設定】
医師確保奨学金等貸与事業	医師を目指す者に対して就学等にかかる資金を貸与し、返還免除を希望する者には貸与した期間を町立医療機関で勤務する義務年限を設け、将来的な医師確保を図る。	貸与決定者	1名	1名	1,800	B	平成29年度からの貸与者が医師免許を取得し、令和2年度で貸与期間が終了した。今後数年間の研修期間を経て臨床医としての勤務が期待される。近年の常勤医、非常勤医の確保の状況からも今後も医師確保は難しい状況であると想定されるため医師を志す者を支援することは、将来的な医師確保に繋がるものとして継続して実施する。 【令和3年度目標値 今後設定】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅱ 健診事業	担当課		【健康推進課】		
KPI	① 特定健康診査受診率	R2	R3	R4	R5	R6
		54%				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
総合健診（基本健診＋各種がん検診）	基本健診・特定健診・後期高齢者健診と、各がん検診を同時に実施する。	回数	23	15	30,385	B	受診しやすい環境づくりの一環として、総合健診の継続実施が必要 【令和3年度目標値 16回】
個別検診(子宮がん・乳がん・歯科健診)	検診実施期間中（約7か月）に、複数の医療機関で、子宮がん、乳がん、歯科健診を実施する。	受診数	653	594	3,744	B	受診しやすい環境づくりの一環として、受診期間が長く、受診者の都合により受診できるため、継続実施が必要。 【令和3年度目標値 653回】
日曜健診	集団健診（総合健診）の日曜実施	回数	2	0	0	C	令和2年度はコロナ感染症予防のため実施を見送ったが、希望者も多く、受診者の利便性を図るため、継続実施が必要。 【令和3年度目標値 1回】
尿中塩分測定	減塩対策を進めるため、5年に1回、健診受診者を対象に尿中塩分測定を行う。 令和元年度は19歳から74歳の基本健診及び特定健診受診者を対象に実施する。	1日平均摂取量	0	0	0	B	住民の減塩意識を高めるため、減塩対策事業評価のため、5年に1回の継続実施が必要 ※次回令和6年度実施予定 【令和3年度目標値 0回】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅲ地域包括ケアシステム構築推進事業	担当課	【福祉支援課】			
KPI	②介護予防事業の実施箇所数	R2	R3	R4	R5	R6
		66				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
地域介護予防活動支援事業	高齢者が誰でも一緒に参加することができる住民主体の介護予防活動の地域展開を目指し支援する	延参加人数	9,000	8,583	1,320	A	コロナ禍により計画していた活動が展開しにくい状況であった。コロナ禍でも活動できる体制等内容を拡充する必要がある。【令和3年度目標値 9,000】
介護予防普及啓発事業	介護予防の知識普及のパンフレット作成、講演会や体操教室等の開催、その情報や記録の媒体配布	回数	40	39	9	B	コロナ禍により介護予防教室が実施しにくい状況であった。緊急事態宣言の合間を縫って実施する必要がある。【令和3年度目標値 50】
生活支援・介護予防サービスの基盤整備事業	生活支援コーディネーターの委託と連携、地域包括ケア推進委員への謝礼と関係者の研修	会議数（年間）	5	5	18,213	B	複数の生活支援コーディネーターが個々に活動するのではなく、地域課題や活動の方向性を共有する必要がある。【令和3年度目標値 5】
認知症地域支援・ケア向上事業	認知症地域支援推進員を増やし、認知症の人や家族が安心して生活できるよう支援体制を拡充する。	窓口設置数	3	3	18	B	認知症地域支援推進員が個別相談を行った。引き続き緊急事態宣言の合間を縫い本人・家族交流会を実施する。【令和3年度目標値 3】
認知症サポーター養成事業	認知症への理解啓発のための講座の開催、講師役のスキルアップ研修	サポーターの養成数	200	80	3	B	学校教育の場や職域で養成を強化する。またサポーターが本人等のニーズに合った具体的な活動が出来るようスキル向上の研修も行う。【令和3年度目標値 100】
家族介護支援事業	地域における認知症高齢者の見守り体制の構築を目的とした、徘徊高齢者を早期に発見できる体制作りに取り組む。	行方不明者数	0	1	0	B	捜索事例の状況を見直し、さらに警察や消防等関係機関との連携を強化し、早期発見、帰宅をめざす。【令和3年度目標値 0】
認知症初期集中支援推進事業	認知症の人や家族に早期に関わる専門支援チームを設置し、相談支援を強化する。	深刻な事態となる事例	0	0	25	B	相談先を周知し、早期把握、相談対応を行うことで、適切な支援、サービスにつなげられている。【令和3年度目標値 0】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅳ健康で長生きするぞ事業	担当課	【健康推進課】			
KPI	①特定健康診査受診率	R2	R3	R4	R5	R6
		54%				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
特定健診・特定保健指導事業	40歳～74歳の国保加入者を対象とするメタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための特定健康診査及び保健指導を実施。	受診率の向上	57	未確定	9,403	B	生活習慣病予防及び重症化予防のため、特定健康診査及び保健指導の継続が必要である。 【令和3年度目標値 58%】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【土木建築課、にぎわい創生課】

国の政策パッケージ	
(4) ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる	○地域資源を活かした個性あふれる地域の形成
京丹波町における政策の基本目標	
(4) 豊かな暮らしを持続可能にするまちづくり	(ウ) 多世代交流拠点整備の推進

政策パッケージ	(ウ) 多世代交流拠点整備の推進							
達成すべき目標	まちづくり拠点数 2015～2018累計0設置⇒2020～2024累計5設置							
施策の推進方針	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの拠点となる施設の充実を図り、交流人口の増加と生涯学習の機会創出につなげる。併せて、小学校の空きスペースや遊休施設の改修など、文化的な教養醸成につながる有効活用計画を検討する。 ・本町の豊かな自然を守り育てることにより、地域の人材育成にもつなげる。 ・国定公園の指定を契機に地域活性化のモデル事業を検討し、まち全体への広がりを模索する。 							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値	目標値				
			2018年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①民宿の設置戸農家数(累計)	戸	3			1		1
	②京丹波町の交流人口を令和6年度に4,900千人に拡大する。	千人	4,395	4,500	4,600	4,700	4,800	4,900
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I 「道の駅」地域拠点機能強化事業(森の京都関連事業)	・道の駅を拠点とた、町内を周遊する仕組みの造成。					②	
	II 畑川ダム周辺整備事業(森の京都関連事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・町民の健康増進に役立てる。 ・施設を整備し、地域の交流拠点となることが期待できる。 					②	
	III 丹波自然運動公園周辺整備事業(森の京都関連事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・行政の中心機能、防災拠点および緊急輸送道路をつなぐことで、地域道路ネットワークの強化が図れる。 					②	
	IV 地域ふるさと再生事業	<ul style="list-style-type: none"> ・駅や観光資源の整備を行い利便性を高めることで来町者を増やし需要を高めることで、農家民宿等の世代交流の拠点となる環境整備の充実につなげる。 					①	

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	I「道の駅」地域拠点機能強化事業（森の京都関連事業）	担当課	【にぎわい創生課】			
KPIの実績	②京丹波町の交流人口を令和6年度に4,900千人に拡大する。	R2	R3	R4	R5	R6
		2994				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
京丹波町道の駅連絡協議会	京丹波町道の駅連絡協議会の活動による道の駅の運営強化と観光情報の発信。	事業件数	2件	3件	331	B	町内道の駅駅長を集めた幹事会を月1回開催し、それぞれの課題・現状について情報共有を行った。さばメシ街道プロジェクトオリジナルキャラクター名を公募で選定し、キャラクターマスクを作成した。また、明治安田生命との連携で「道の駅健活プロジェクト」の取組みを実施した。 【令和3年度目標値3件】
食の京丹波活性化プロジェクト	道の駅連絡協議会と朝市出荷者（生産者）、大手民間食品製造会社との連携事業。	事業件数	1件	1件	602	B	道の駅と密接に関係のある「朝市」と、町内の大手食品会社とを協議会が結び、農家所得の向上と特産品の情報発信に寄与した。 【令和3年度目標値2件】
道の駅連絡協議会による周遊パンフレットを配架・周遊動画のPR強化	道の駅で働く女性スタッフを中心に、女子目線で作成したパンフレットを配架。	配架部数	5000冊	5000冊	297	B	女性の目線と女性の意見で作成した道の駅パンフレットを発行し、各施設等に配架したところ講評であり、増刷を行った。 【令和3年度目標値5000冊】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅱ 畑川ダム周辺整備事業（森の京都関連事業）	担当課	【土木建築課】			
KPI	②京丹波町の交流人口を令和6年度に4,900千人に拡大する。	R2	R3	R4	R5	R6
		2994				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
畑川ダム周辺整備事業	平成23年度にまとめた基本構想に基づき、規模、内容、予算及び維持管理において多角的に捉え、最も合理的な事業計画となるよう際検討を実施した	交流人口の拡大	4,500	2,994	1600	B	平成24年度に完成した畑川ダムにより新たに創出される水辺空間を生かし、町民の健康増進、交流拠点の場とするため今後においても計画的に進めるもの。 【令和3年度目標値4,600人】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅲ 丹波自然運動公園周辺整備事業（森の京都関連事業）	担当課	【土木建築課】			
KPI	②京丹波町の交流人口を令和6年度に4,900千人に拡大する。	R2	R3	R4	R5	R6
		2994				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
町道蒲生野中央線道路改良事業	地域道路ネットワークの強化に向けメインストリートとしたまちづくりを行うための道路改良の用地測量、用地買収及び改良工事等	交流人口の拡大	4,500	2,994	37526	B	本路線は、国道9号線と27号線を結び蒲生野地区を横断している重要な路線である。国道を連結する道路として通行する車があるが、現況は幅員狭小（W=3.2m）で離合が困難となっているため、整備を行い安全確保が必要がある。 【令和3年度目標値4,600人】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅳ 地域ふるさと再生事業	担当課	【にぎわい創生課】			
KPI	① 民宿の設置戸農家数（累計）	R2	R3	R4	R5	R6
		3				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
駅再生プロジェクト	平成29年策定の「和知駅再生計画」を基本として、駐輪場や掲示看板、区間線設置、喫茶スペースへの無線ルーター設置などの環境整備や、乗車券の販売委託により、駅利用者の利便性を高めている。今後も、必要に応じて駅利用者の利便性が向上できるよう、関係機関等との調整を含め、進める。	検討中				B	引き続き、施設の修繕等の必要に応じた対応と、地域の活性化に向けた検討を行う。
国定公園施設整備事業	長老山森林公園管理事業により森林公園及び国定公園トイレ等の管理を実施し、入山者満足度を向上させる。また、農業体験や長老山登山等に訪れる者が宿泊できる農家民宿の充実に向けて支援を行う。	検討中				B	引き続き、施設の修繕等の必要に応じた対応と、地域の活性化に向けた検討を行う。

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【土木建築課】

国の政策パッケージ	
(3) 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	○安心して暮らすことができるまちづくり
京丹波町における政策の基本目標	
(4) 豊かな暮らしを持続可能にするまちづくり	(エ) 安全な生活基盤整備

政策パッケージ	(エ) 安全な生活基盤整備							
達成すべき目標	まちづくり拠点数 2015～2018累計 <u>0</u> 設置⇒2020～2024累計 <u>5</u> 設置							
施策の推進方針	・移住者のみならず、町民の生活環境を快適かつ安全に維持していくことにより、定住のための環境整備を行う。							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値 2018年	目標値				
				2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①町営住宅の長寿命化に向けた改善戸数	戸	0	12	9	12	2	14
	②道路施設の修繕件数	件	51	60	60	60	60	60
	③橋梁の修繕率	%	0	10	20	30	40	50
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I 効果的な道路等維持管理事業	・調査や町民要望等で状況を把握し、補修や舗装等を行うことで、周辺住民や道路利用者の安全確保や利便性の向上に期待できる ・交通安全施設の新規設置や老朽施設の補修を行うことで安全性の確保が図れる。					②	
	II 橋梁維持修繕事業	・修繕計画に基づき適切な対策を行うことにより、地域の道路ネットワークの安全性、信頼性を確保するとともに、ライフサイクルコストの最適化が図れる。					③	
	III 公営住宅維持修繕事業	・老朽化が進む町営住宅等ストックの改善・維持管理を、管内の住宅事情や財政事情を考慮しながら計画的・効率的に進めていくことで、入居者が安心して住み続けられる快適な住まいの実現が図れる。					①	

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	I 効果的な道路等維持管理事業	担当課	【土木建築課】			
KPIの実績	②道路施設の修繕件数	R2	R3	R4	R5	R6
		54				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
道路維持工事	町道を常時良好な状態に保持し一般交通に支障をきたさないようにするために舗装、付帯構造物等の修繕を実施	補修箇所数	60	54	32148	B	管理施設の老朽化が進んでおり、今後も突発的、計画的な修繕が必要であるため 【令和3年度目標値60件】
交通安全施設整備工事	町道の内、特に通学路、生活道路の交通安全施設や歩道の整備を行い、交通安全の確保を図る	整備路線数	2	3	3861	B	例年、学校等から危険個所の要望があり、計画的に整備を進めるもの。 【令和3年度目標値 2件】
道路維持管理システム構築業務	橋梁、舗装、付属施設の効率的な維持管理に向け、調査したデータ等を保管・検索が容易に行え、迅速かつ効率的な施設維持管理を図る	修繕計画路線数	3	0	0	B	道路台帳のデジタル化に向け準備中であり、今後システム化を図り、効率的な道路管理を図る必要があるため 【令和3年度目標値 0件】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅱ 橋梁維持修繕事業	担当課		【土木建築課】		
KPI	③橋梁の修繕率	R2	R3	R4	R5	R6
		30				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
橋梁修繕工事	点検要領に基づき、補修が必要な橋梁を計画的に修繕するもの。	補修橋梁数	40	30	19332	B	示されている点検要領に基づく修繕を継続し、計画的に進める必要があるため 【令和3年度目標値 50%】
橋梁点検業務	法律に基づいた橋梁点検を計画的に実施するもの。	点検橋梁数	70	89	30337	B	法律に基づいた橋梁点検を引き続き計画的に実施する必要があるため 【令和3年度目標値 70橋】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅲ 公営住宅維持修繕事業	担当課	【土木建築課】			
KPI	①町営住宅の長寿命化に向けた改善戸数	R2	R3	R4	R5	R6
		0				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
町営住宅改善工事	「京丹波町公営住宅等長寿命化計画」に沿った修繕の実施。	修繕棟数	0	0	0	B	今回の改訂を基に、長寿命化に資する予防的保全的な管理や改善を計画的に推進しライフサイクルコスト（LCC）の削減を図りながら実施していく。 【令和3年度目標値 0戸】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【総務課】

国の政策パッケージ	
(3) 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	○安心して暮らすことができるまちづくり
京丹波町における政策の基本目標	
(4) 豊かな暮らしを持続可能にするまちづくり	(オ) 「災害の少ないまち」での防災まちづくり

政策パッケージ	(オ) 「災害の少ないまち」での防災まちづくり							
達成すべき目標	自主防災組織数 2015～2019累計 <u>2</u> 設置⇒2020～2024累計 <u>5</u> 設置							
施策の推進方針	<ul style="list-style-type: none"> ・災害が少ないなどの本町の強みを活かして、企業誘致や農山村移住の機運向上につなげる。 ・まち全体で危機管理意識を向上させることにより、将来的な人材確保につなげる。 ・女性消防団員の入団や自主防災組織の結成を推進することで、総合的に地域の防災力を高める。 							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値 2018年	目標値				
				2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①消防団員数	人	790	850	850	850	850	850
	②自主防災組織数	組織	6	10	12	14	16	18
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I 地域防災力向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自助、共助、公助が相関的に機能する地域防災力の醸成 ・京丹波町国土強靱化地域計画の推進 					①②	

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	I 地域防災力向上事業	担当課		【総務課】		
KPIの実績	①消防団員数	R2	R3	R4	R5	R6
		785				
	②自主防災組織数	R2	R3	R4	R5	R6
		10				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合



■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
消防団活動運営事業	人口減少化で団員数も減少が見込まれる中、地域のつながりとともに、CATVを活用した募集広報	団員数	850	785	66,489	B	【令和3年度目標値 790人】
公民館等集会所耐震化事業	自治会等が所有する公民館等の集会所の耐震化を進める。	実施箇所	1	0	0	B	【令和3年度目標値 1件】
原子力災害住民避難訓練	原子力災害を想定し、UPZ圏内での避難訓練の実施。	参加者	1	0	0	B	【令和3年度目標値 1件】
自主防災組織育成事業	災害から地域社会を守るため、自治会等、住民が自主的に結成し運営する組織の育成。	組織数	10	10	193	B	【令和3年度目標値 13件】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

【こども未来課、農林振興課、にぎわい創生課】

国の政策パッケージ	
(3) 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携	○地域資源を活かした個性あふれる地域の形成
京丹波町における政策の基本目標	
(4) 豊かな暮らしを持続可能にするまちづくり	(カ) 持続可能な地域（ふるさと）づくりの推進

政策パッケージ	(カ) 持続可能な地域（ふるさと）づくりの推進							
達成すべき目標	まちづくり拠点数 2015～2018累計 <u>0</u> 設置⇒2020～2024累計 <u>5</u> 設置							
施策の推進方針	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの拠点となる施設の充実を図り、交流人口の増加と生涯学習の機会創出につなげる。併せて、小学校の空きスペースや遊休施設の改修など、文化的な教養醸成につながる有効活用計画を検討する。 ・本町の豊かな自然を守り育てることにより、地域の人材育成にもつなげる。 ・国定公園の指定を契機に地域活性化のモデル事業を検討し、まち全体への広がりを模索する。 							
重要業績評価指標 (KPI)	指標名	単位	基準値 2018年	目標値				
				2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
	①バイオマス関連施設就業者数（林業関係者含む累計）	人	6	1	1	1	1	1
	②助成制度活用による移住者数（累計）	組	15	19	22	26	30	34
	③地元産酒米使用数量	Kg	5648	5930	6226	6537	6863	7206
	④田舎ぐらしナビゲーターの配置	人	5	19	20	20	20	20
戦略的に実施する事業	事業名	期待される効果					KPI	
	I 再生可能エネルギー推進事業	・道の駅を拠点とた、町内を周遊する仕組みの造成。					①	
	II 住み続けるまちづくり事業（再掲）	・町民の健康増進に役立てる。 ・施設を整備し、地域の交流拠点となることが期待できる。					②	
	III バイオテクノロジーを活用した地域産業活性化事業（再掲）	・行政の中心機能、防災拠点および緊急輸送道路をつなぐことで、地域道路ネットワークの強化が図れる。					③	
	IV 定住化促進に向けた地域の受入体制構築（再掲）	・駅や観光資源の整備を行い利便性を高めることで来町者を増やし需要を高めることで、農家民宿等の世代交流の拠点となる環境整備の充実につなげる。					④	

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	I 再生可能エネルギー推進事業	担当課	【農林振興課】			
KPIの実績	①バイオマス関連施設就業者数（林業関係者含む累計）	R2	R3	R4	R5	R6
		3				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
森林資源のフル活用プロジェクト	林地残材の活用を総合的に取り組むため、モデル事業として取り組んでいる地域熱供給施設の横展開を図るための調査分析業務を実施することの他、既に導入している地域熱供給施設の運用を行う。	燃料用チップ消費量 （湿潤量） （t）	470	357	4292	B	現在は既存施設での燃料コストの削減に向けて調査分析を行っている。今後は、チップ製造施設の生産能力等を加味しながら、他施設での木質バイオマス利用に繋げていく。 【令和3年度目標値 470t】
食と農とエネルギーの循環利用プロジェクト	乳用牛ふん尿の新たな活用としてメタン発酵によるエネルギー化に向け、資源量の調査、施設整備計画、維持管理費等の調査分析業務の実施及びエネルギー供給施設の整備	メタン発酵施設による家畜排泄物の処理量 （湿潤量） （t）	20310	—	48	B	メタン発酵施設運用時に発生する消化液を液肥として利用する為、その液肥の利用実証試験を行っている。消化液は液肥利用以外の用途が無く、排水処理する為には多額の費用がかかることから、継続して液肥利用に対する事業分析に努める。 【令和3年度目標値 0t】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅱ 住み続けるまちづくり事業（再掲）	担当課	【和知支所】			
KPI	②助成制度活用による移住者数（累計）	R2	R3	R4	R5	R6
		0				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
分譲地購入助成	「京丹波町若者定住促進宅地購入助成補助金交付要綱」に基づき同要綱第2条に定める対象者要件に該当する者に対して100万円を補助する。	助成制度利用者数	1件	0件	0千円	D	平成27年、本庄地内に分譲地を9区画整備。本助成事業は2年度末で終了。残り1区画については、令和3年度より貸出をする。 【令和3年度目標値0件】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅲ バイオテクノロジーを活用した地域産業活性化事業（再掲）	担当課	【農林振興課】			
KPI	③地元産酒米使用数量	R2	R3	R4	R5	R6
		5,665				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
バイオテクノロジーを活用した地域産業活性化事業	地元耕種農家全量生産による酒米を、地元唯一の酒造会社が開発し、販売流通することで地域ブランドの確立に繋げる。さらに、米政策の転換にあたり、需要に応じた米生産の仕組みを構築するための一翼を担うもの。	地元産酒米使用数量 kg	5800 kg	566 5 kg	-	B	地元産酒米の使用数量はやや増加へ推移しているが、昨年度に当初設定した目標値には届かなかった。今後、さらに増加を目指し事業を継続することで成果を拡大するもの。 【令和3年度目標値 5,800kg】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	成果指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--

R2 年度戦略事業評価シート

事業名	Ⅳ 定住化促進に向けた地域の受入体制構築（再掲）	担当課	【にぎわい創生課】			
KPI	④田舎ぐらしナビゲーターの配置	R2	R3	R4	R5	R6
		21				

A：拡充	今後内容を拡充して実施する必要がある
B：継続	当面の間、現状のまま継続して実施
C：見直し	事務事業の効率化等により見直す必要がある
D：終了	目的が達成されたこと等により終了する場合

■事業を構成する細事業

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（年度数値）			事業費 （単位：千円）	評価	評価の判断理由及び改善事項 （妥当性・有効性、効率性に基づき記載）
		指標名	目標値	実績値			
地域提案書や集落の教科書等の地域案内資料作成	受入体制の整備・充実に向け、京丹波町移住促進事業の地域受入体制整備事業等を活用し、地域案内資料等の作成を行う。	地域受入体制整備事業活用件数	1	2	1,000	B	地域受入体制整備事業の活用により、地域案内動画やHP内に移住専用ページ作成等を実施。 【令和3年度目標値 1件】
京の田舎ぐらしナビゲーターの設置及び情報共有の仕組みづくり	移住促進特別区域内において、各区域に京の田舎ぐらしナビゲーターを配置し、情報共有ができる仕組みを構築する。	情報共有会議開催回数	3	1		B	新型コロナウイルス感染症感染拡大により、定期的に会合が開催できなかったことから、情報共有方法の見直しを検討。 【令和3年度目標値 3回】

■改善提案（翌年度からの新規及び改善事業）

事業名	細事業の概要（内容）	活動指標（目標数値）			予算額 （単位：千円）	補足説明
		指標名	指標の算出根拠	目標値		

■外部委員会の評価（※事務局記載）

--